

A series of overlapping, organic shapes in teal, yellow, and maroon colors along the top edge of the page.

設営基本パターン1

貼る

A series of overlapping, organic shapes in yellow, grey, red, and teal colors along the bottom edge of the page.



もっともシンプルな
設営方法が

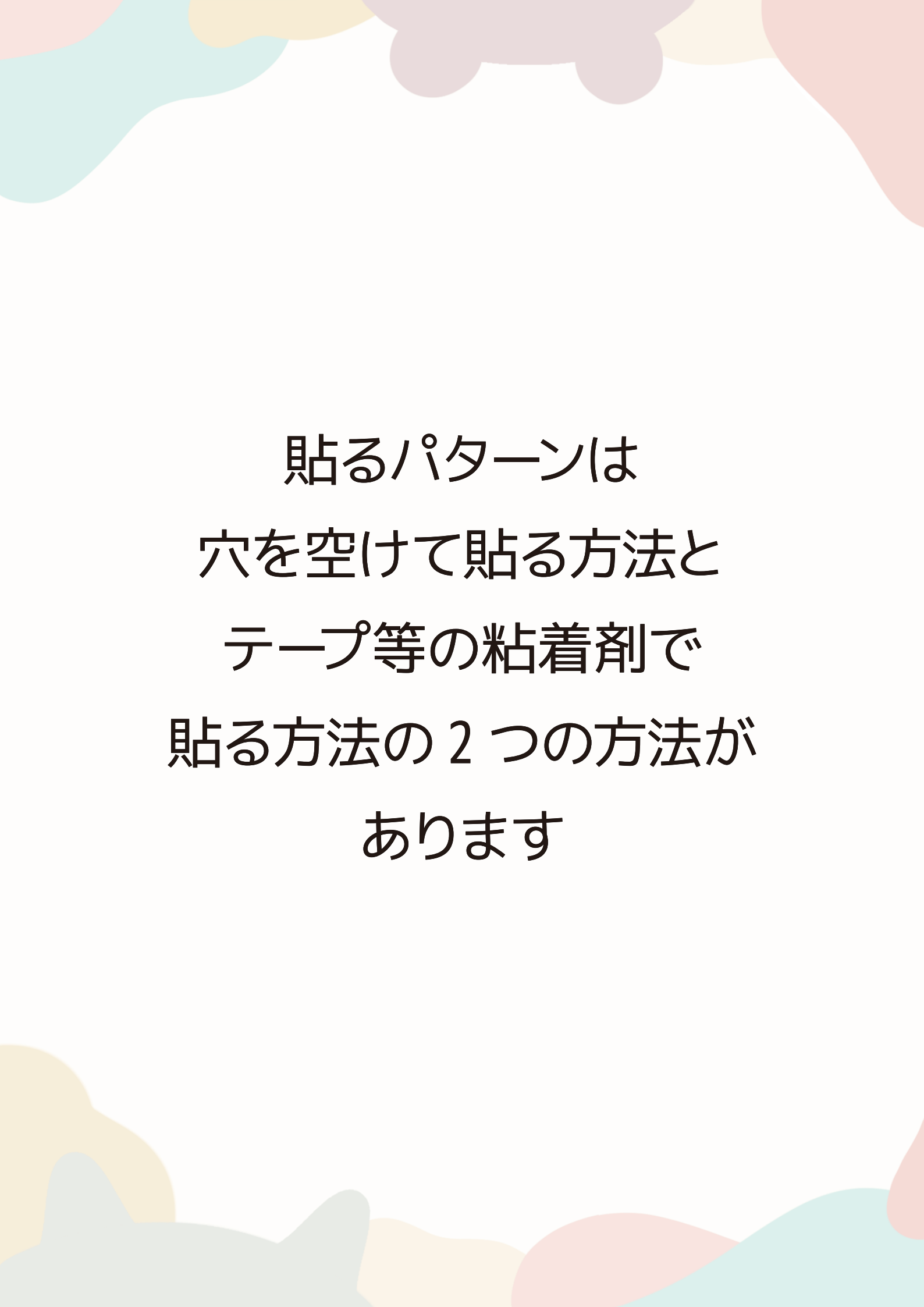
貼る

です



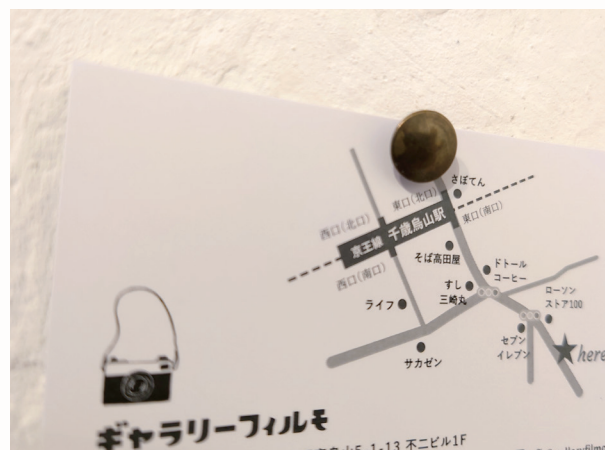
貼る設営の例





貼るパターンは
穴を空けて貼る方法と
テープ等の粘着剤で
貼る方法の2つの方法が
あります

1. 穴を空けて貼る



穴を空けて貼る際の設営器具は



画鋲



虫ピン

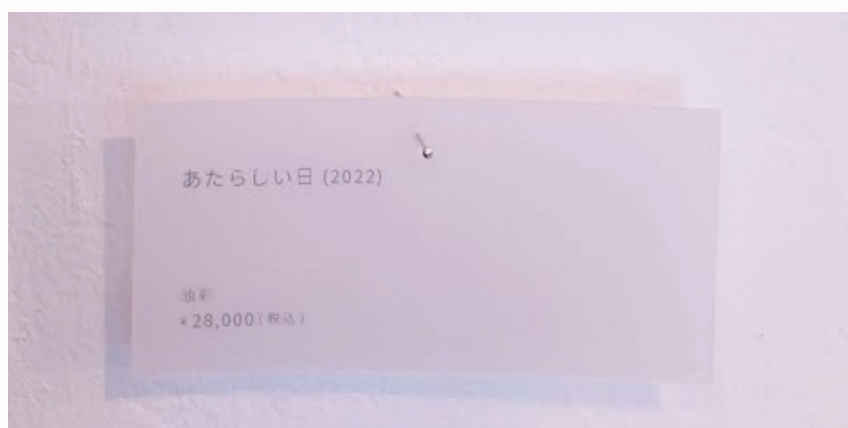


ダルマピン

が代表的です

穴を空けて貼る方法は
ほぼ落ちない設営方法で
作品やキャプションを
直接壁に貼る場合に
とても有効です

※ただし、作品やキャプション自体に
穴が空くのでそこだけ注意です



※キャプション＝作品タイトル等を記載したもの

2. 粘着剤で貼る



粘着剤で貼る際の設営器具は



両面テープ



マスキングテープ



ひっつき虫

が代表的です

最も一般的な
両面テープは跡が残りやすく
壁材も剥がれやすいので
壁には使用不可で
お願いしております



両面テープの跡

※ご自身の什器等に貼る分には
全然 OK です

マスキングテープは
壁に貼っても OK ですが
テープを両面にして貼る方法は
剥がれやすいです



※マスキングテープの粘着力が弱いので
段々落ちてくる場合があります

このように上から貼って
マスキングテープごと
デザインとして見せる方法も
ありますが重さがあるものは
貼れません



その他
壁が剥がれやすいため
強粘着のテープや
ジェル状のものなども
避けていただきたいと思います

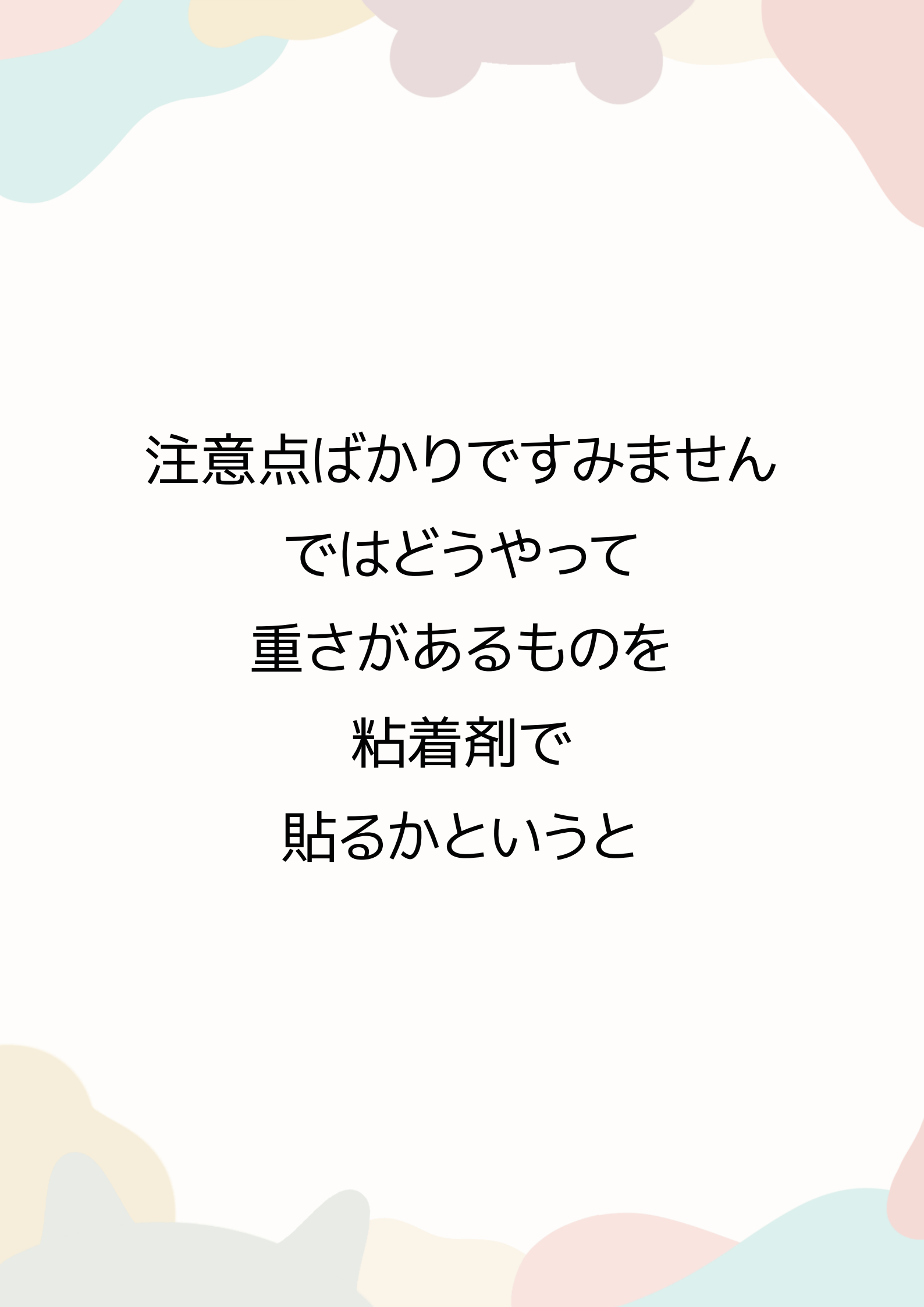


強粘着テープ



ジェル状テープ

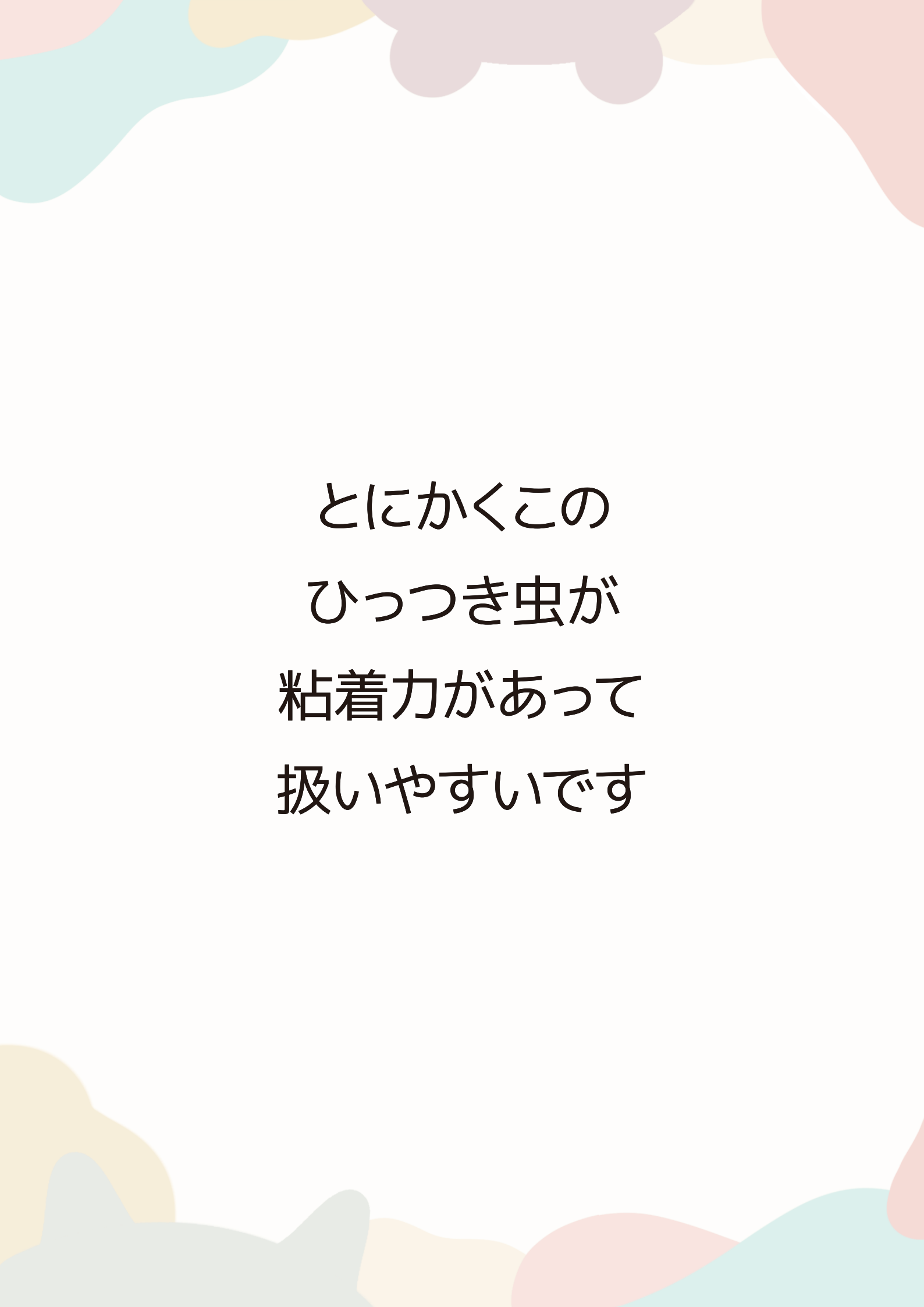
※セロテープ等も同様
テープ類は基本的に壁には向きません



注意点ばかりですみません
ではどうやって
重さがあるものを
粘着剤で
貼るかというと

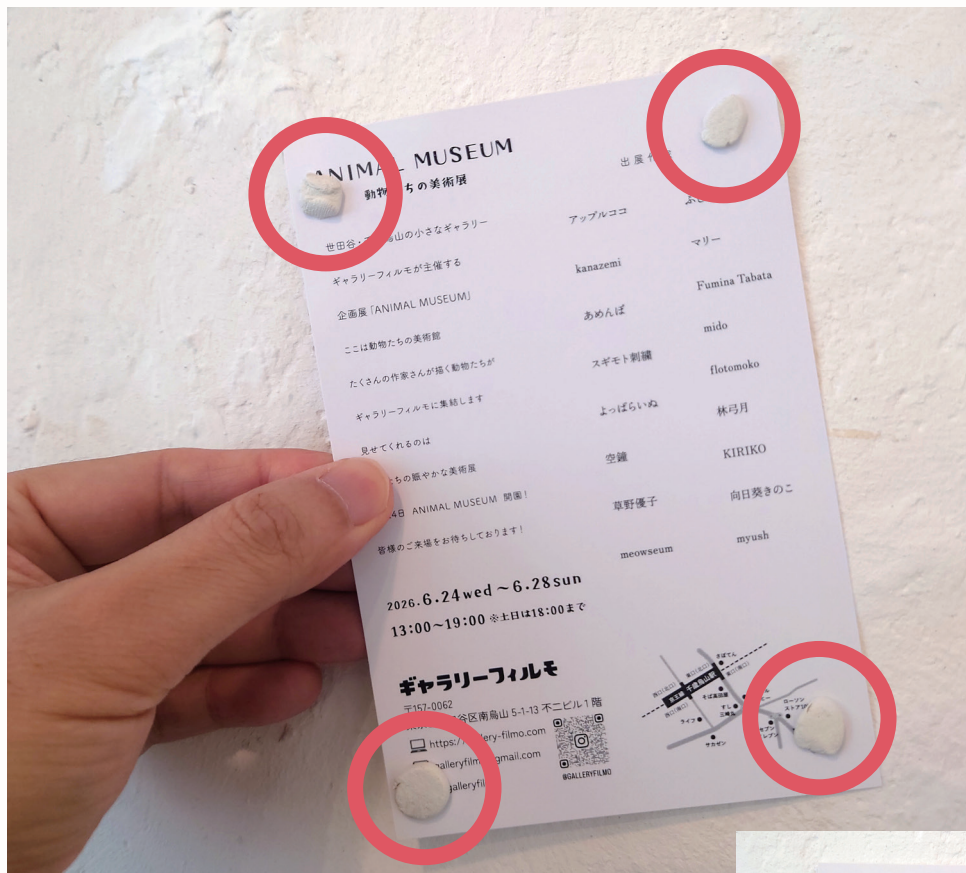
ひっつき虫



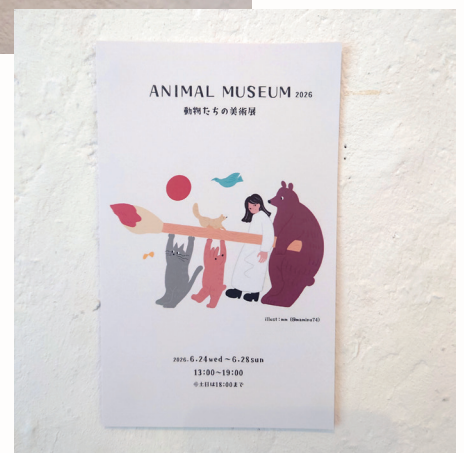
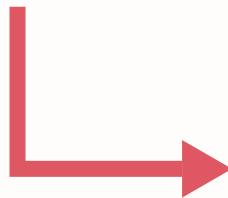


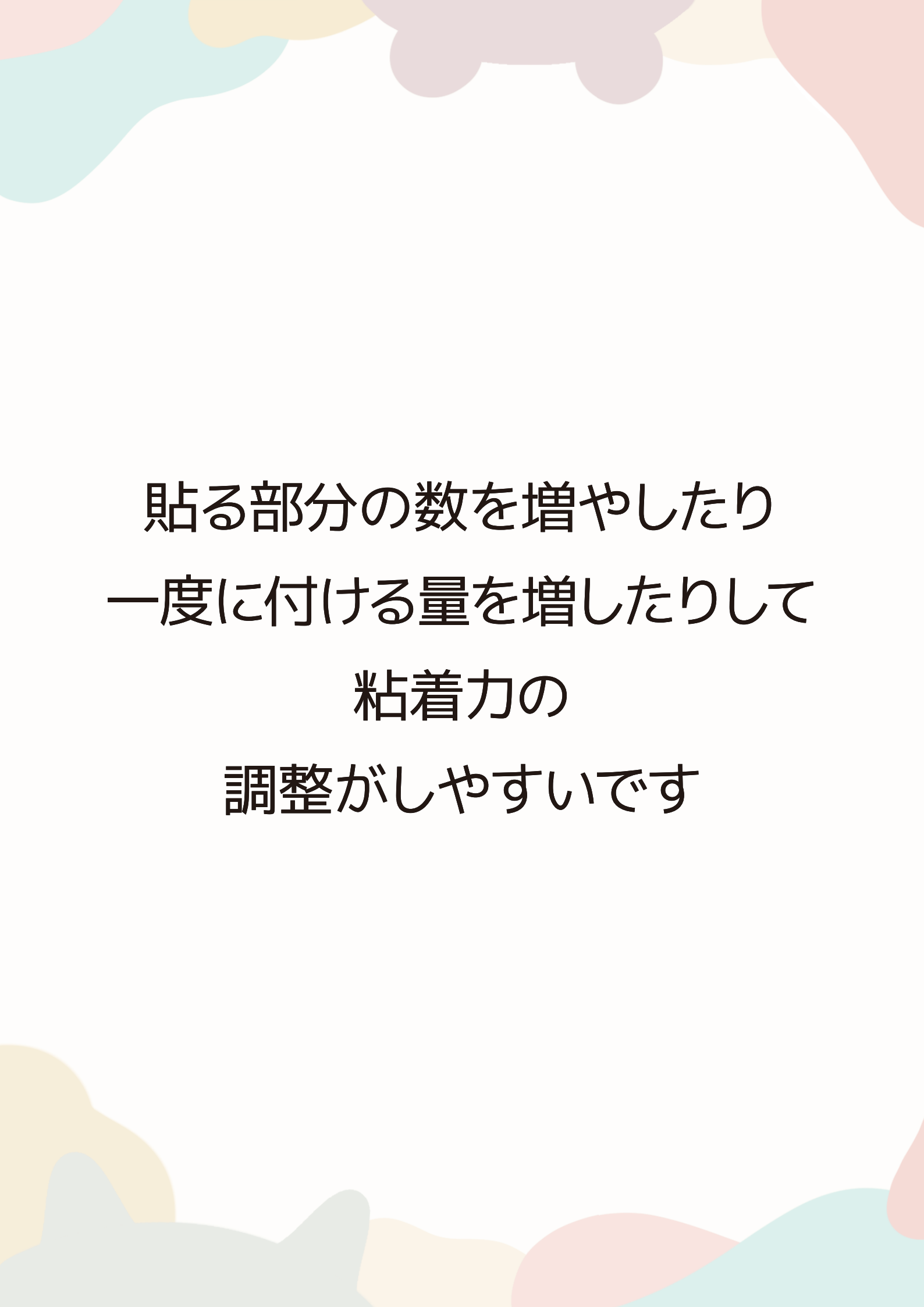
とにかくこの
ひっつき虫が
粘着力があって
扱いやすいです

ひっつき虫を適量丸めて 裏面に付けて

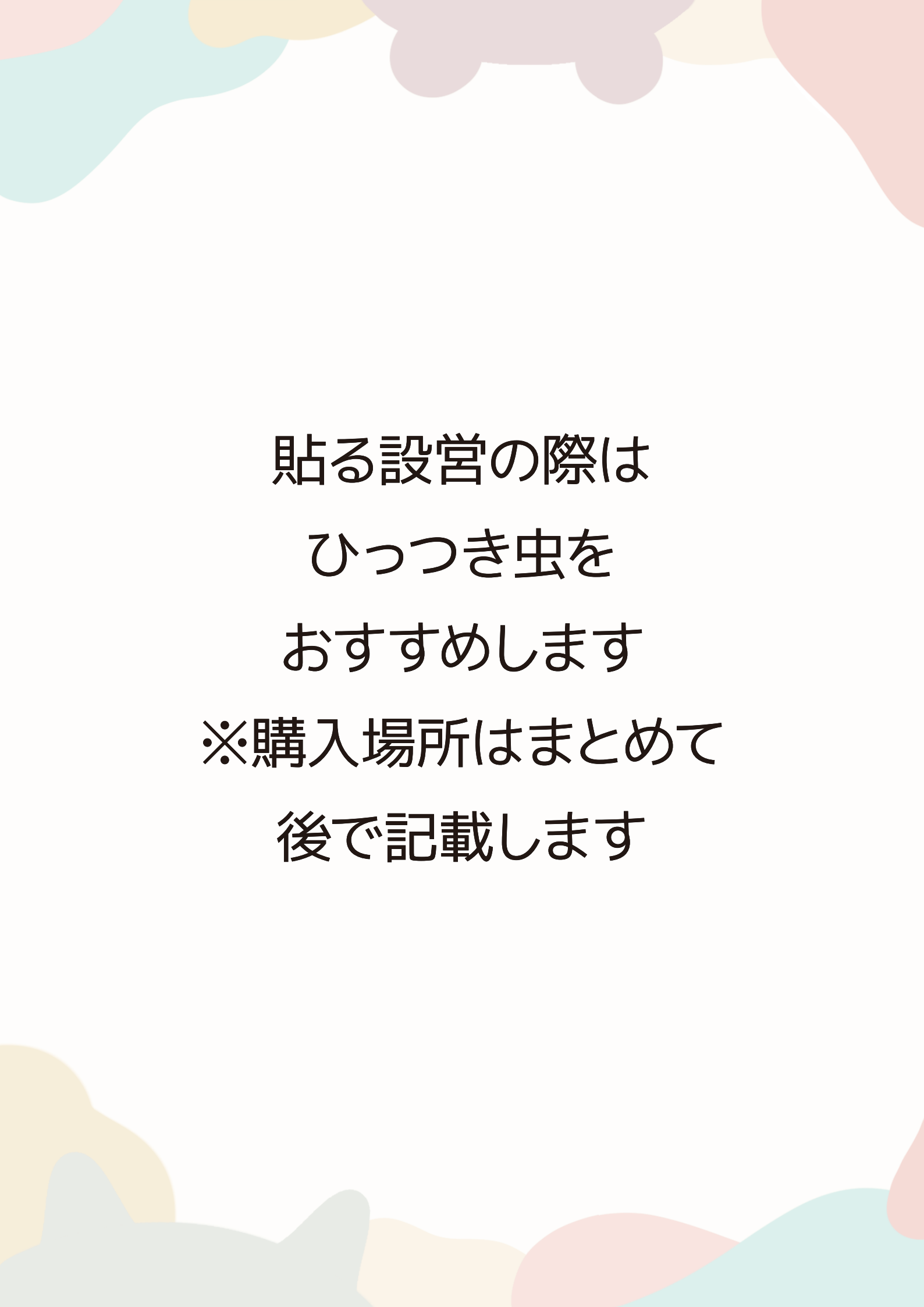


壁に貼るだけの
簡単設営



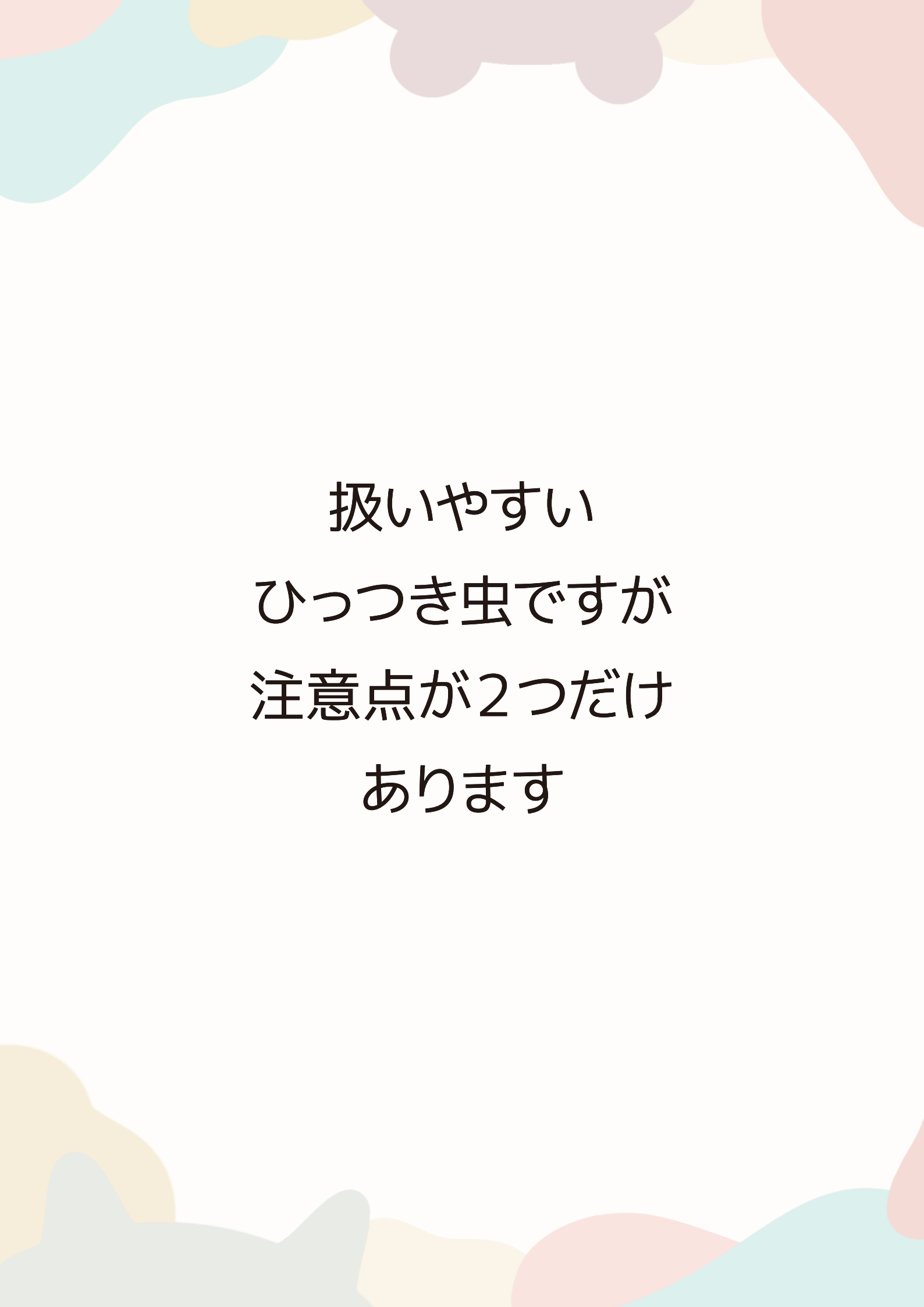


貼る部分の数を増やしたり
一度に付ける量を増したりして
粘着力の
調整がしやすいです



貼る設営の際は
ひっつき虫を
おすすめします

※購入場所はまとめて
後で記載します



扱いやすい
ひっつき虫ですが
注意点が2つだけ
あります

1. 跡が残る場合がある



ものによって裏面に
跡が残る場合があります

※跡が残るかどうかは材質によりますが
紙ものは跡が残りやすいです
作品の裏面なので表面に影響はありません

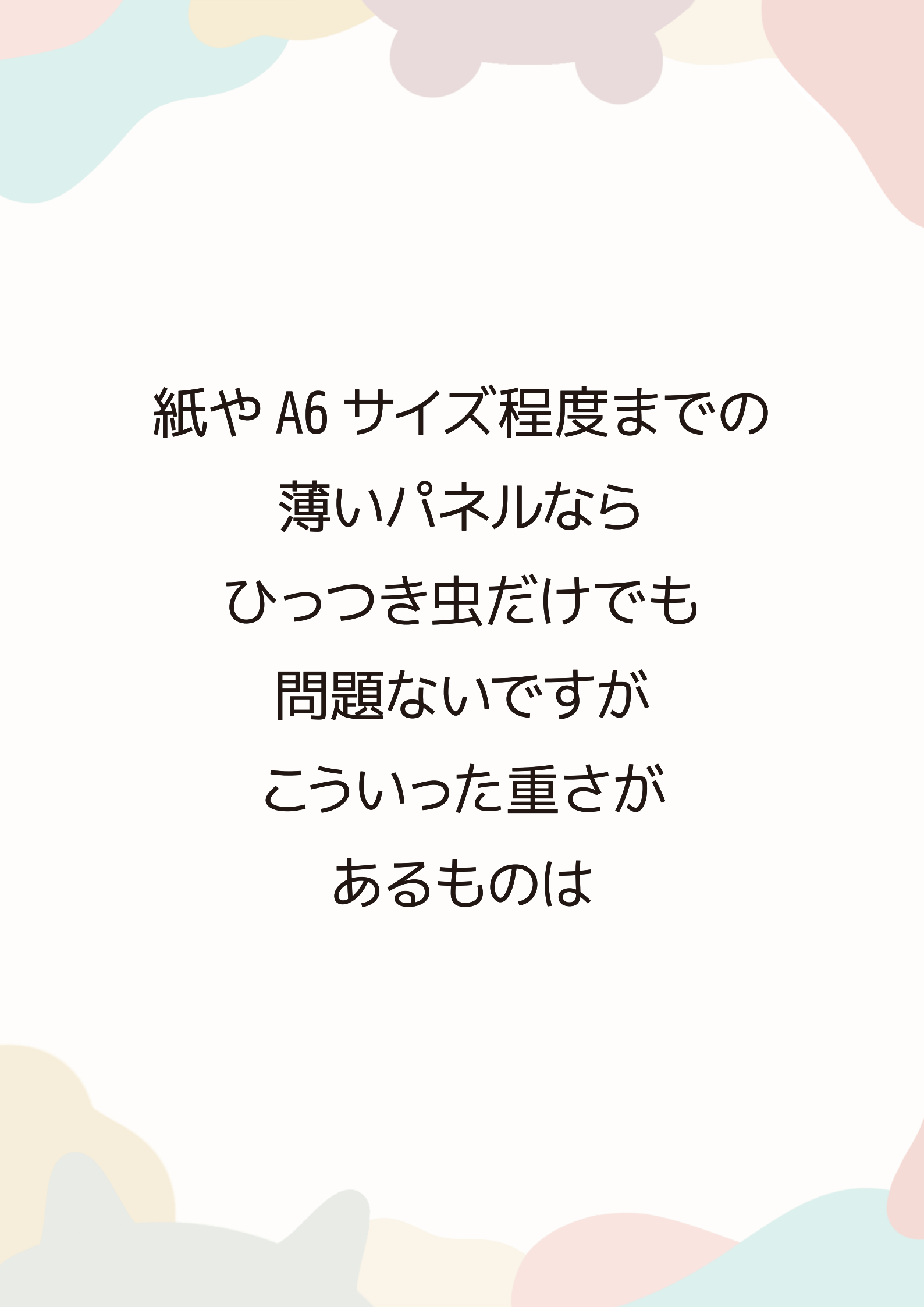
気になる場合は
マスキングテープの
上にひっつき虫を貼ると
跡が残りにくいです



2. 重いものは落ちる



額縁やキャンバス
ラック類などはひっつき虫だけでは
確実に落ちます



紙や A6 サイズ程度までの
薄いパネルなら
ひっつき虫だけでも
問題ないですが
こういった重さが
あるものは



次章

「2. ひっかける」
で設営するように
してください





設営基本パターン2

ひっかける





とても多用される
設営方法が

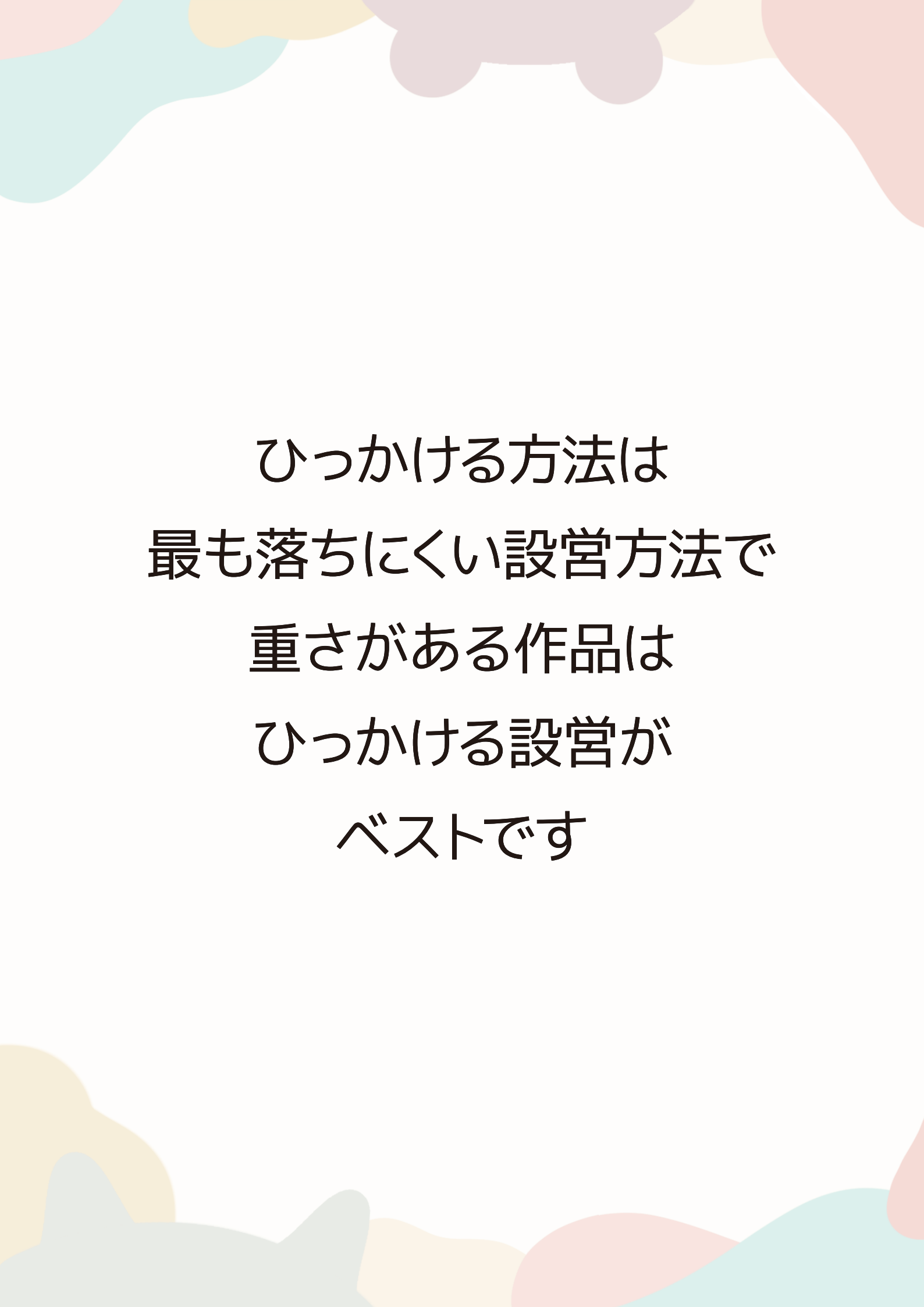
ひっかける

です

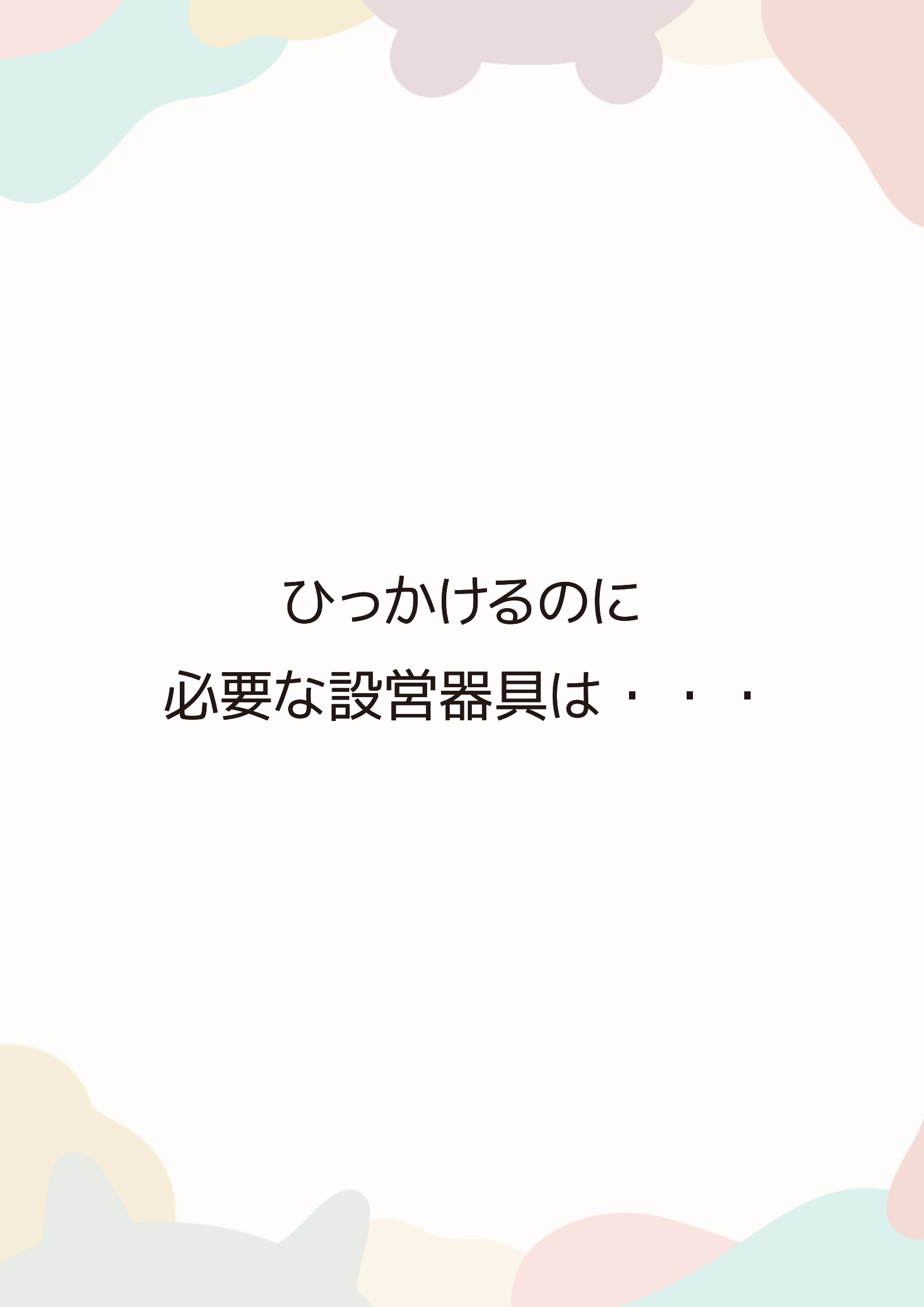


ひっかける設営の例





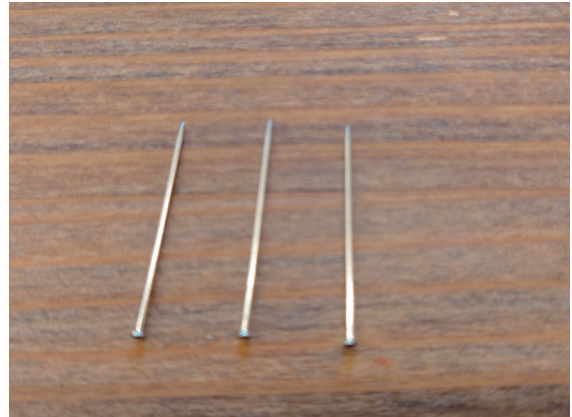
ひっかける方法は
最も落ちにくい設営方法で
重さがある作品は
ひっかける設営が
ベストです



ひっかけるのに
必要な設営器具は . . .



画鋏



虫ピン

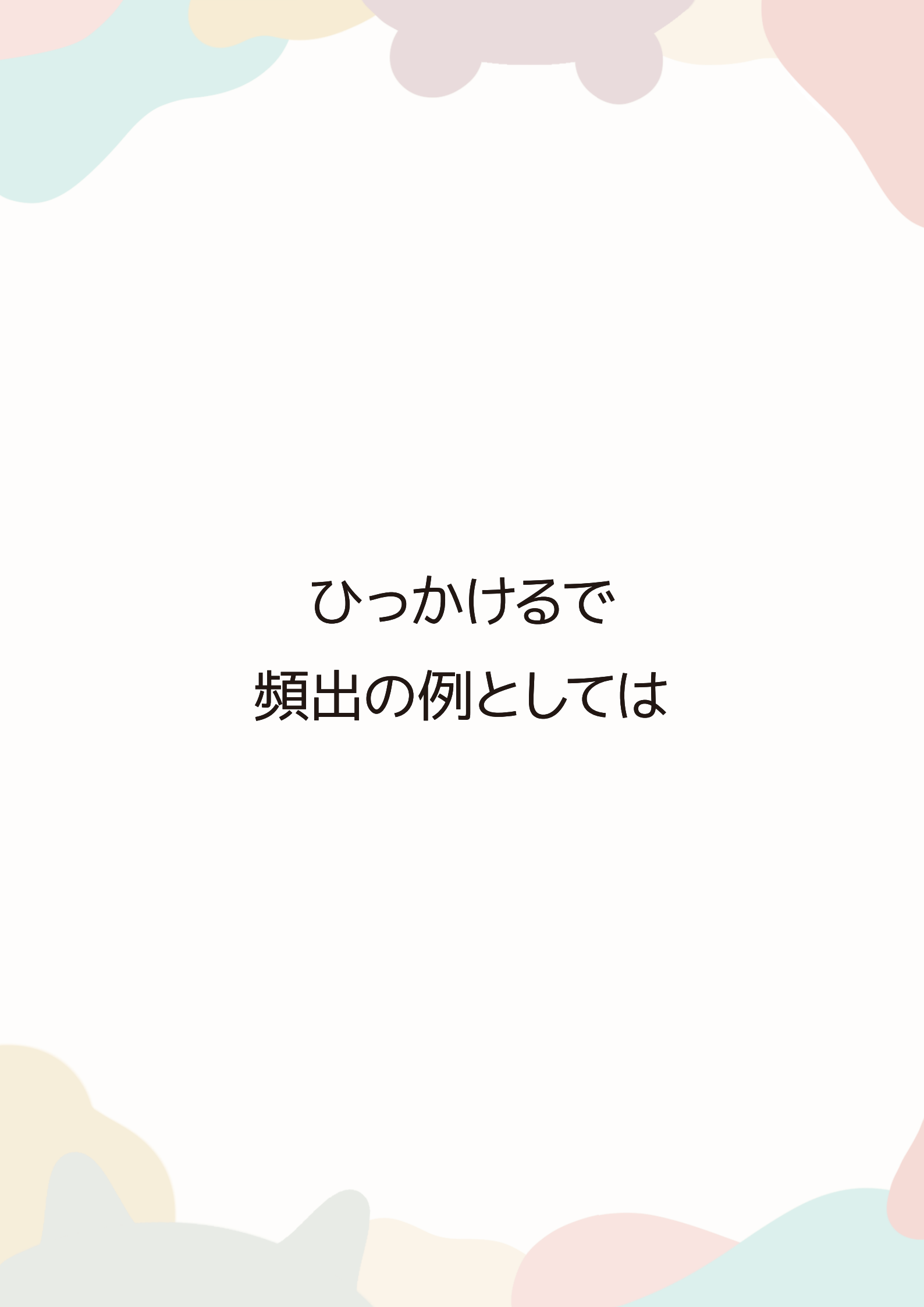


ダルマピン



ピンフック

が代表的です



ひっかけるで
頻出の例としては

紐をひっかける



※額縁の背面に紐を通して
ピンフックにひっかけています

くぼみにひっかける

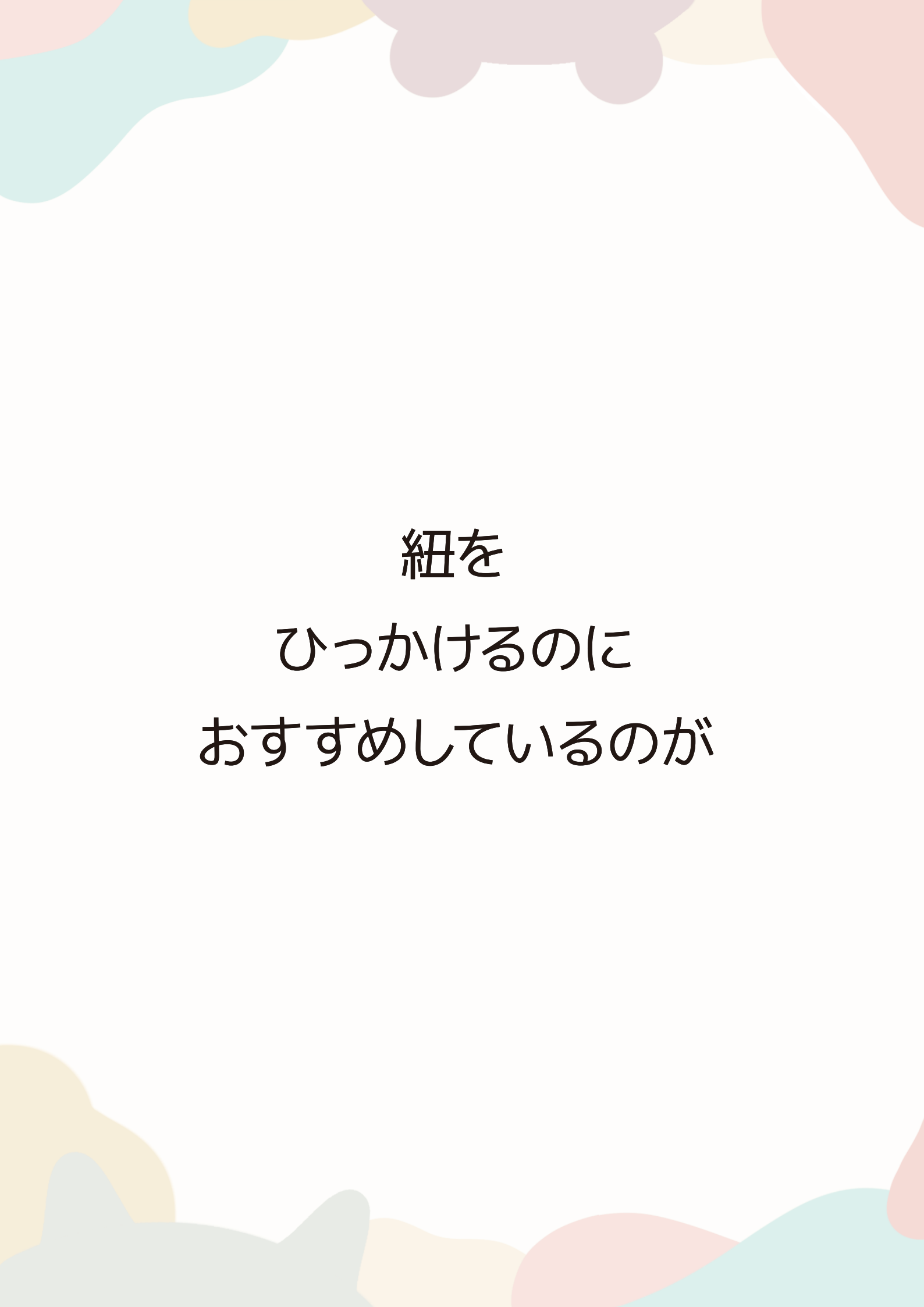


※キャンバスの背面に
ダルマピンをひっかけるところ

器具をひっかける



※木製ラックの金具を
画鋏でひっかけて設営



紐を
ひっかけるのに
おすすめしているのが

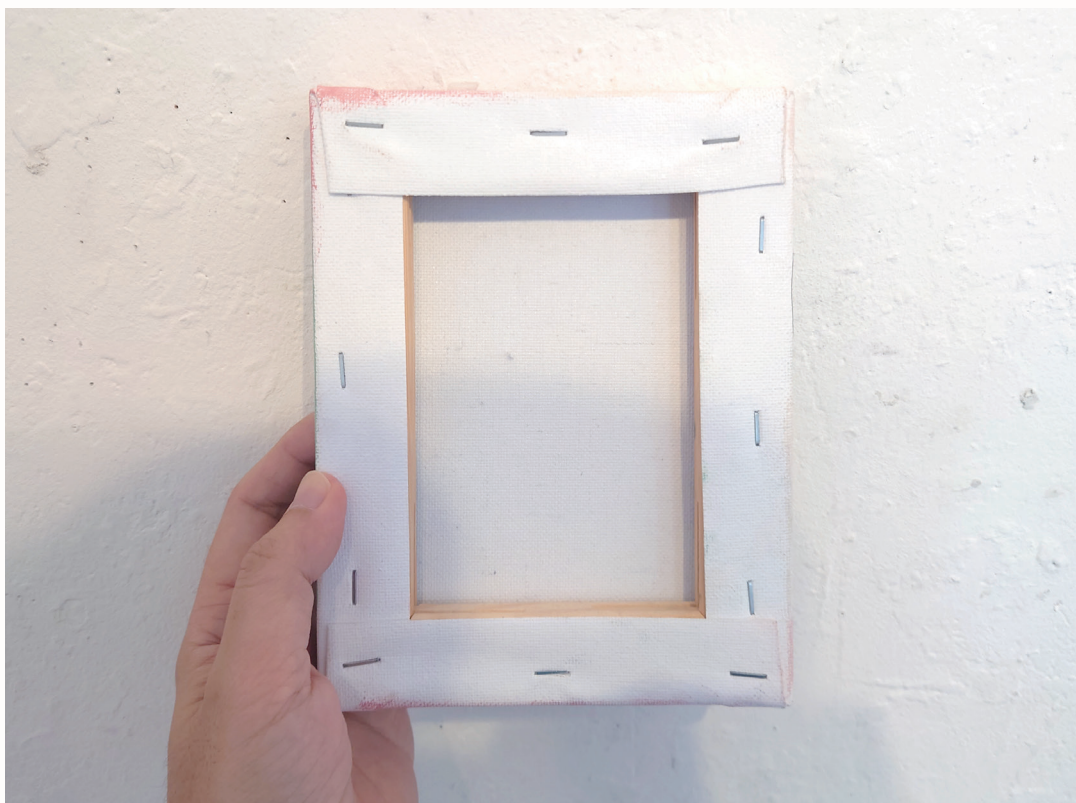
ピンフック



ピンを刺せばフックができるので
紐をひっかけるのに最適です



キャンバスの背面のような
くぼみの場合のおすすめは



ダルマピン



くぼんだところを
ダルマピンにひっかける形で
手軽に設営できます



頂点の一箇所のみだと
揺れやすいので二箇所留めたり
ひつつき虫での補強がおすすめです



壁面に木製ラック等の器具を
引っ掛ける場合は



用途によって



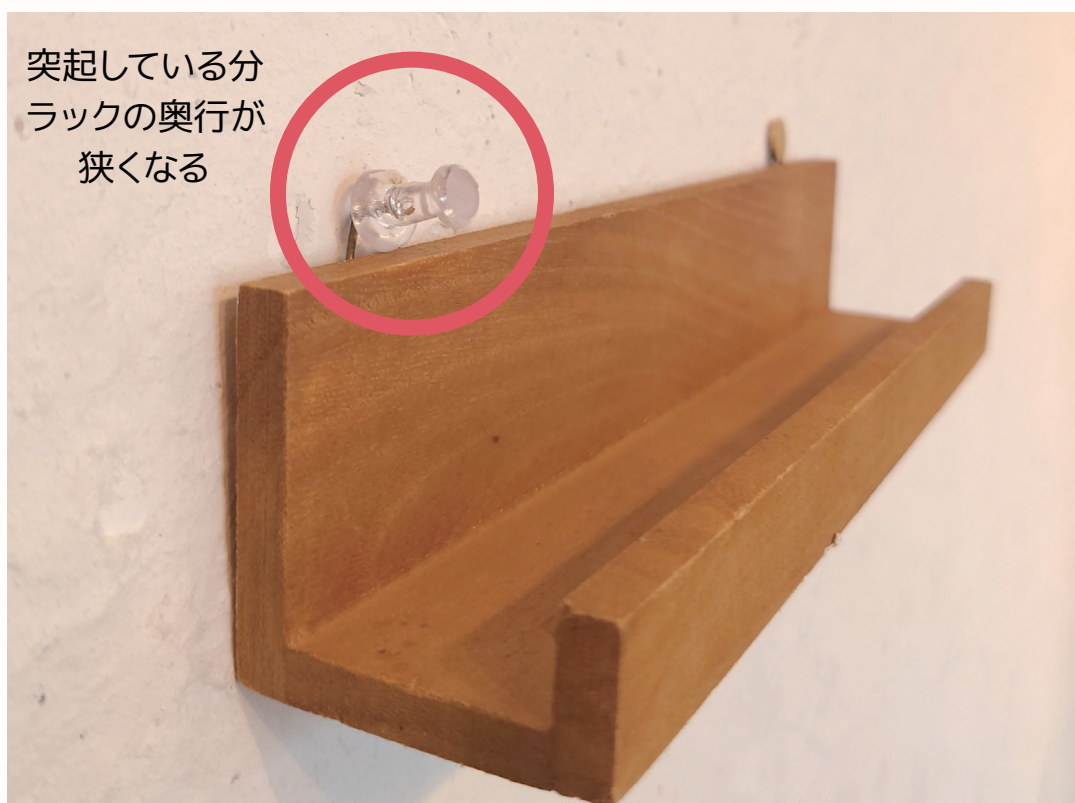
画鋲



ロングダルマピン

※針が長いダルマピンを指します

ポストカードやステッカー等を
設置する場合は
ダルマピンだと奥行が
狭くなってしまうので
平面の画鋲がおすすめです



※奥行が狭くなり
物を置くスペースも狭くなる

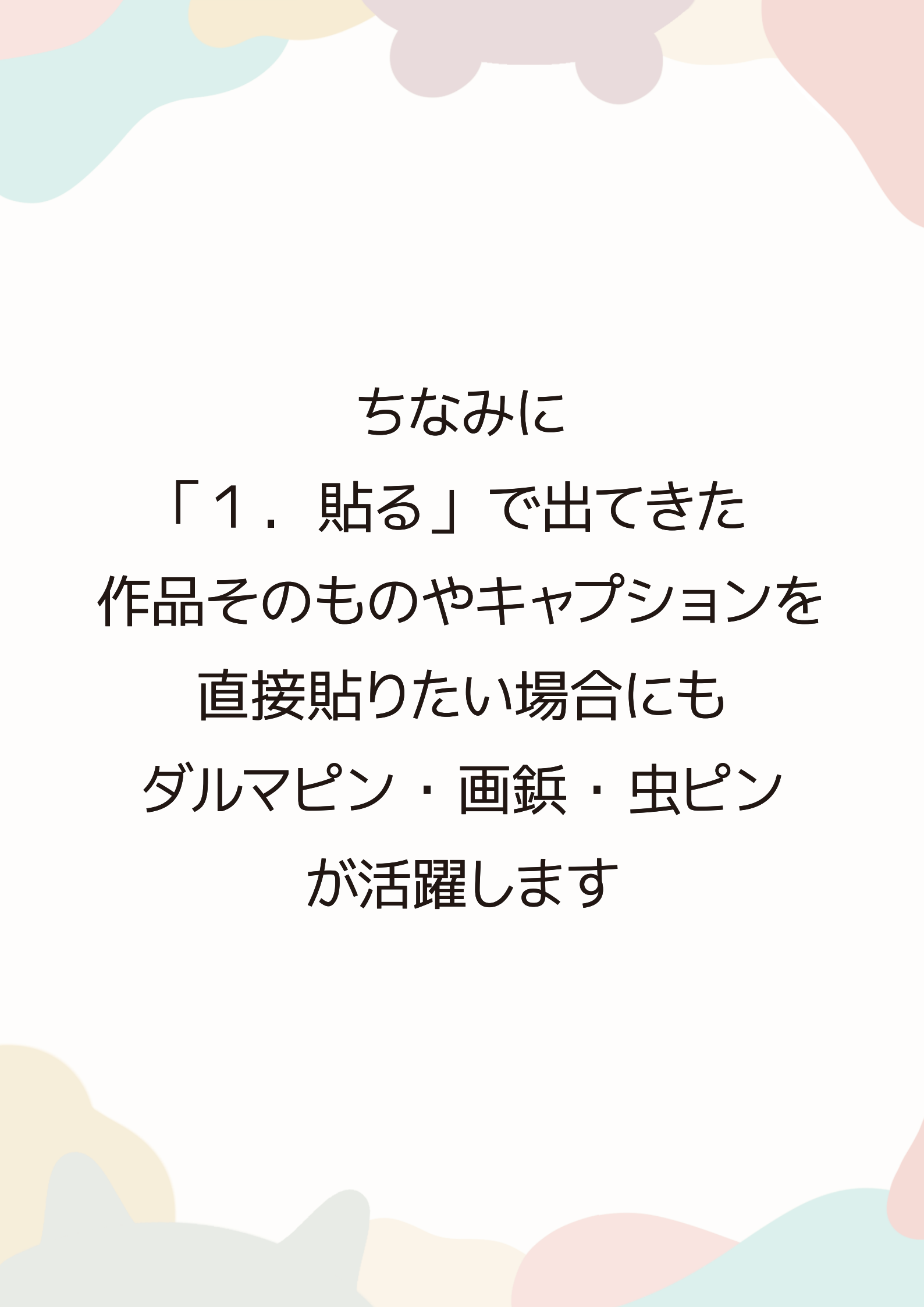
陶器など
重さがあるものを
設置する場合は
通常のダルマピンだと
強度が心配なので



ロングダルマピンを
使用するようになしてください



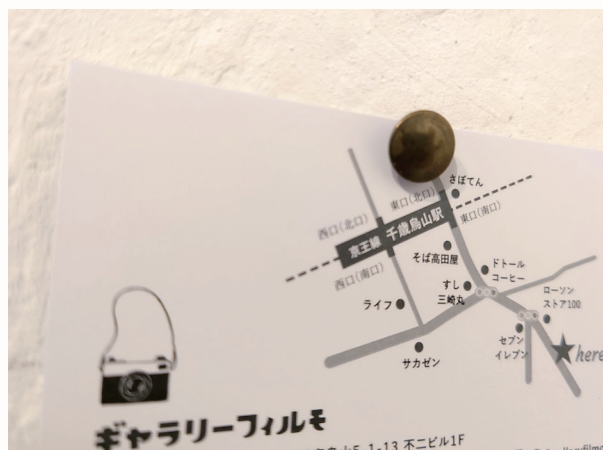
ロングダルマピン
※針が長いダルマピンを指します

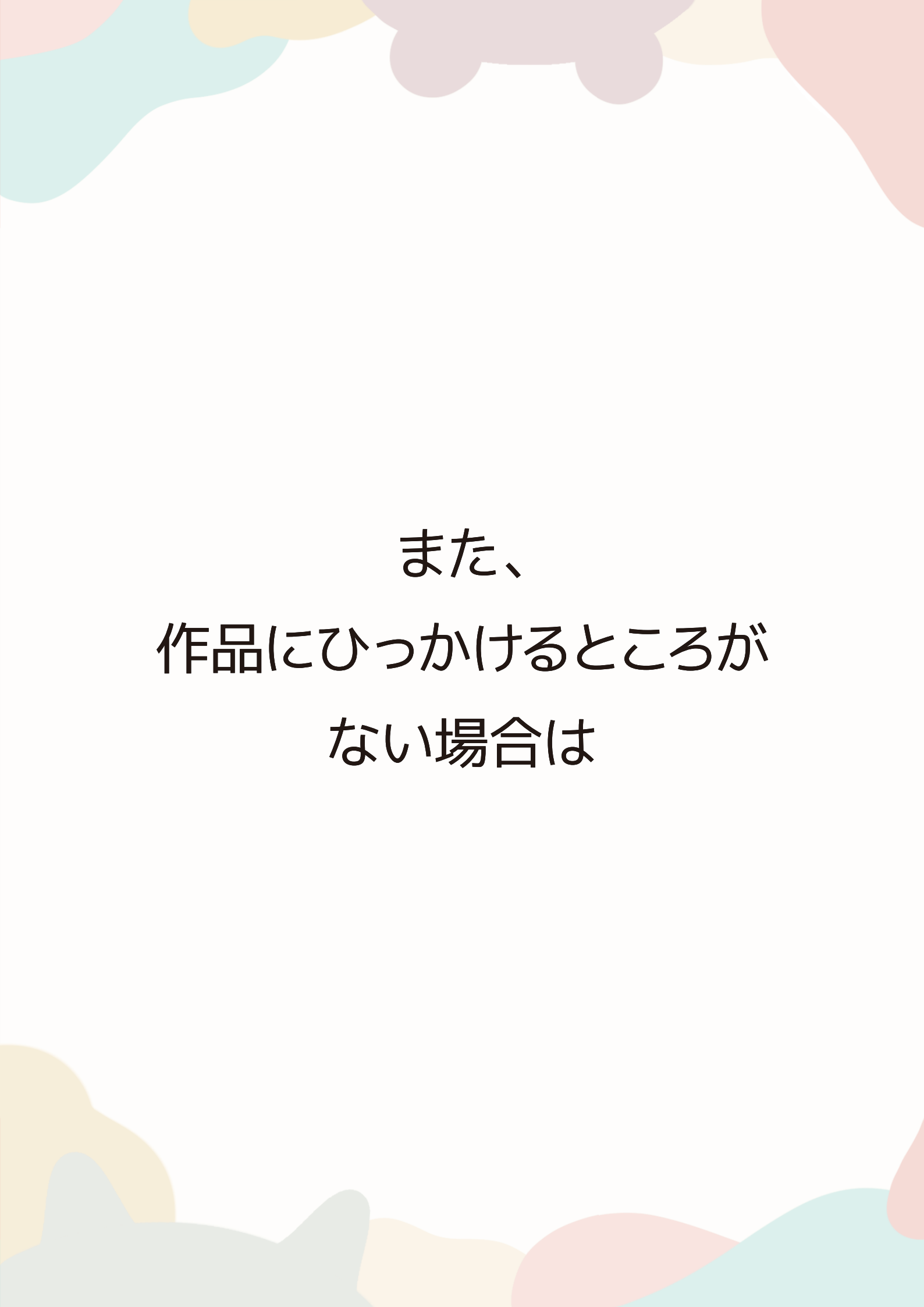


ちなみに

「１．貼る」で出てきた
作品そのものやキャプションを
直接貼りたい場合にも
ダルマピン・画鋏・虫ピン
が活躍します

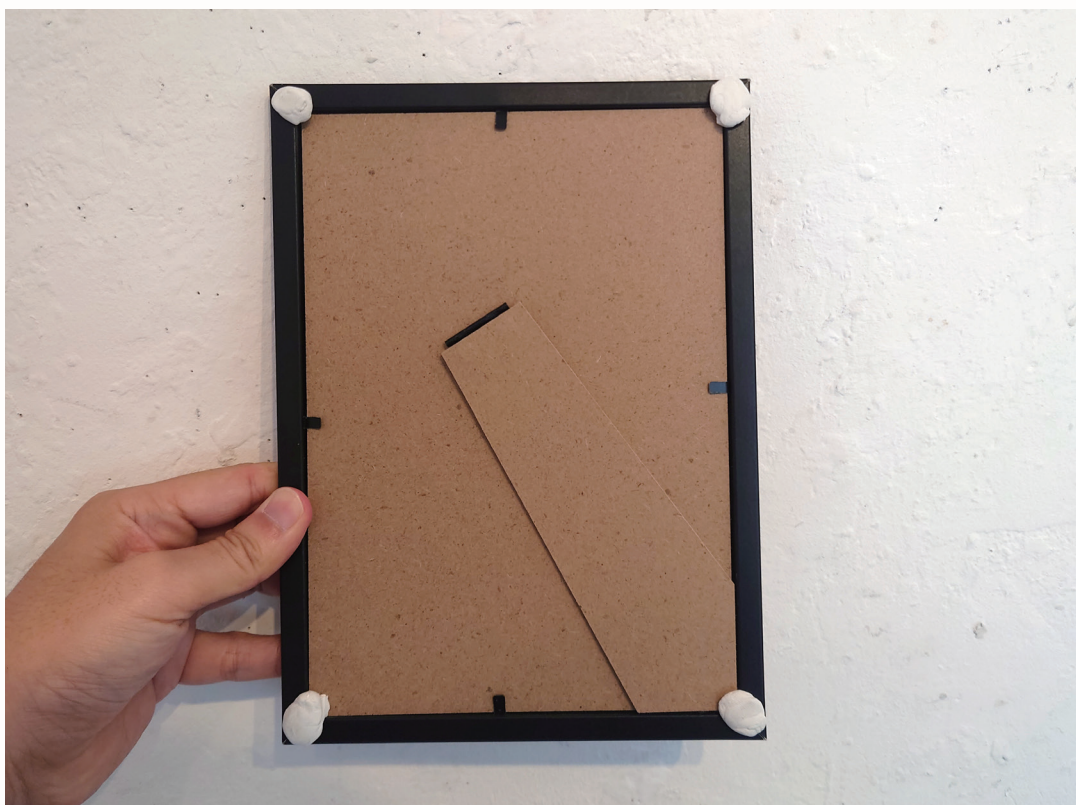
直接貼る例





また、
作品にひっかけるところが
ない場合は

「貼る」で紹介した
ひつつき虫を
裏面に貼った後



虫ピンで 周りを必ず補強してください



※
虫ピンを
額縁の四隅に
這わせるように
打ち込んで補強

特に、額縁・キャンバス
A5 サイズ以上のパネル類は
ひつつき虫だけで貼ると
落ちやすいです

過去

ご自宅やイベント会場などで
大丈夫だった場合でも
5 日間の展示で
当方の壁の材質だと



ポロっと
落ちてしまう場合があるので
必ず補強してください

補強方法については
5. 補強
でも改めて解説します





設営基本パターン3

置く





テーブルやラック部分等の
平面での設営方法が

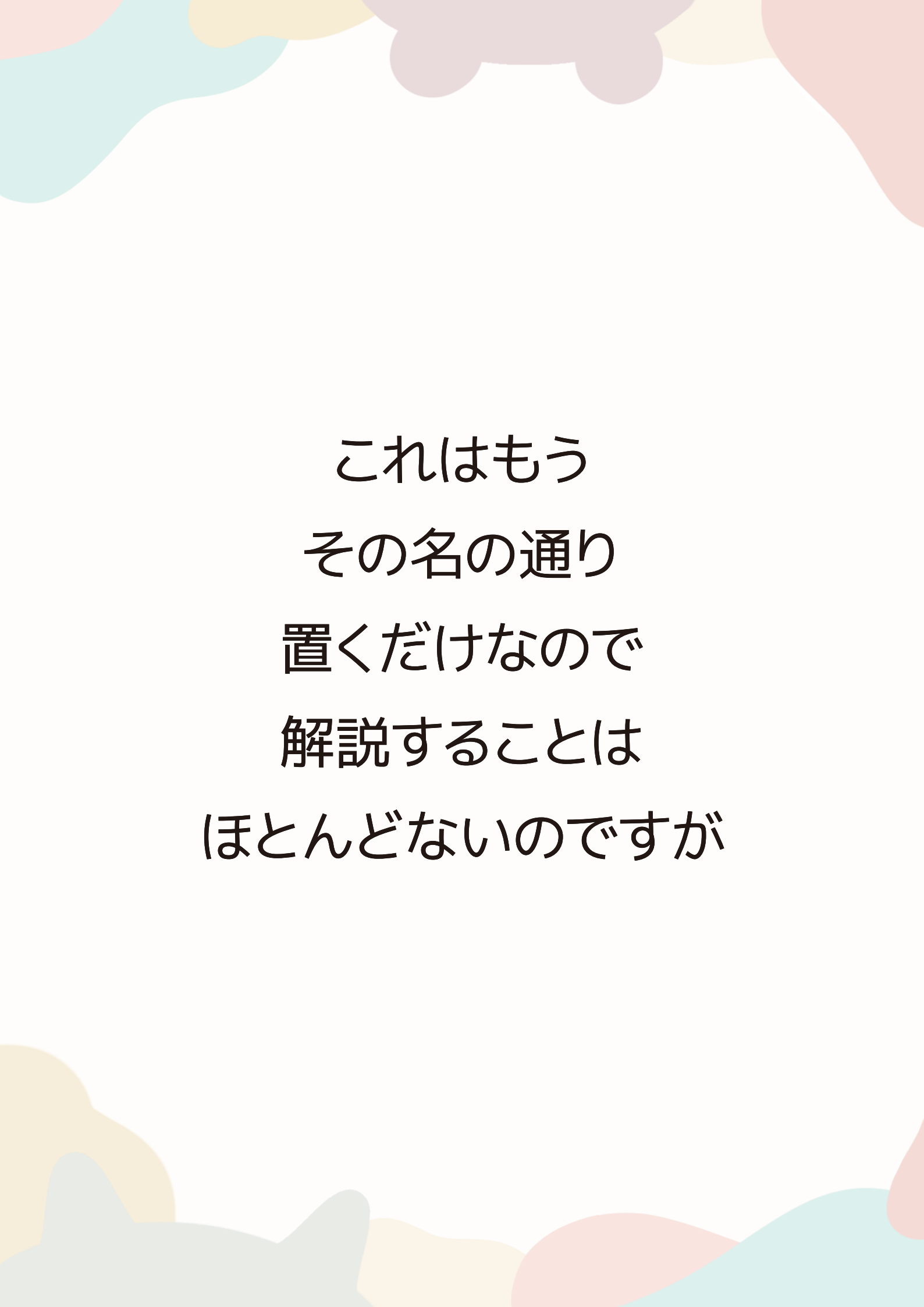
置く

です



置く設営の例





これはもう
その名の通り
置くだけなので
解説することは
ほとんどないのですが

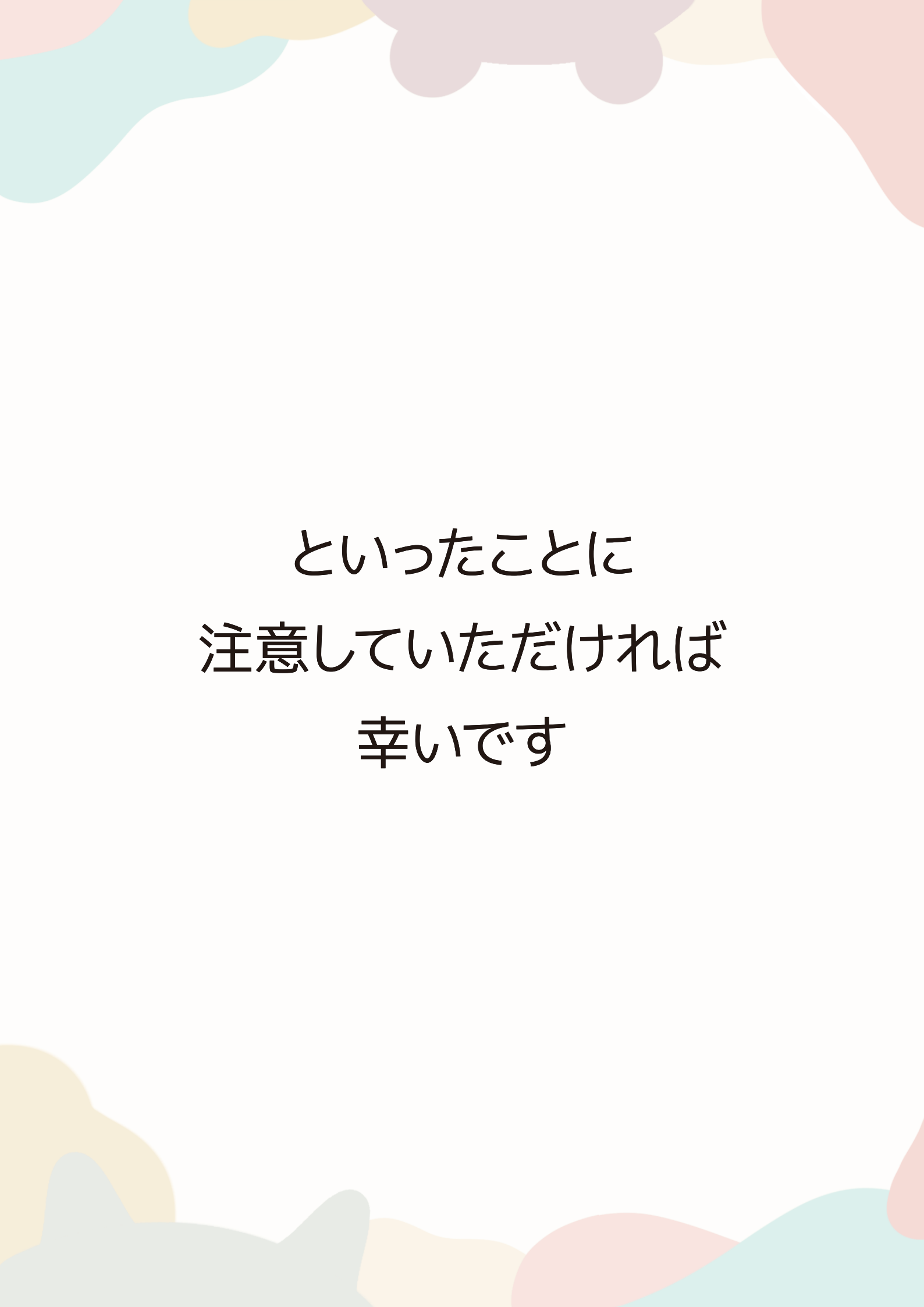
区画サイズからはみ出して
他の方の区画に
はみ出したり



木枠の額縁作品が
隣の区画に
はみ出している

テーブルの端から
はみ出して
落ちやすくなってしまう

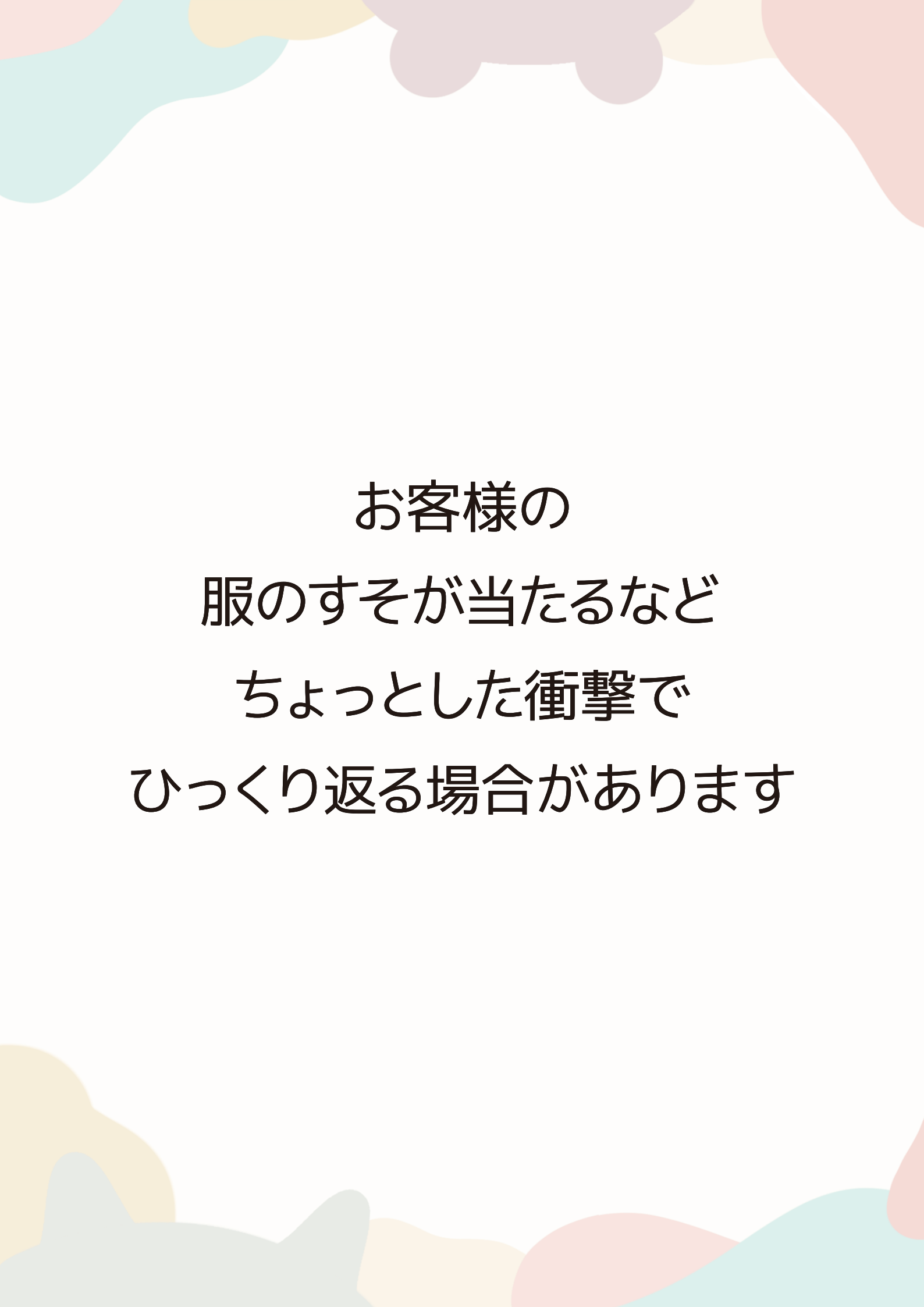




といったことに
注意していただければ
幸いです

また
軽い紙製品や
名刺スタンドなどは





お客様の
服のすそが当たるなど
ちょっとした衝撃で
ひっくり返る場合があります

念のため
ひつつき虫等で
補強していただくと
ありがたいです



名刺スタンドの裏面



紙製品の裏面

※特にサイズが大きいものは当たりやすいので
補強した方が無難です



設営基本パターン4

見せる





作品を見やすくする
工夫が

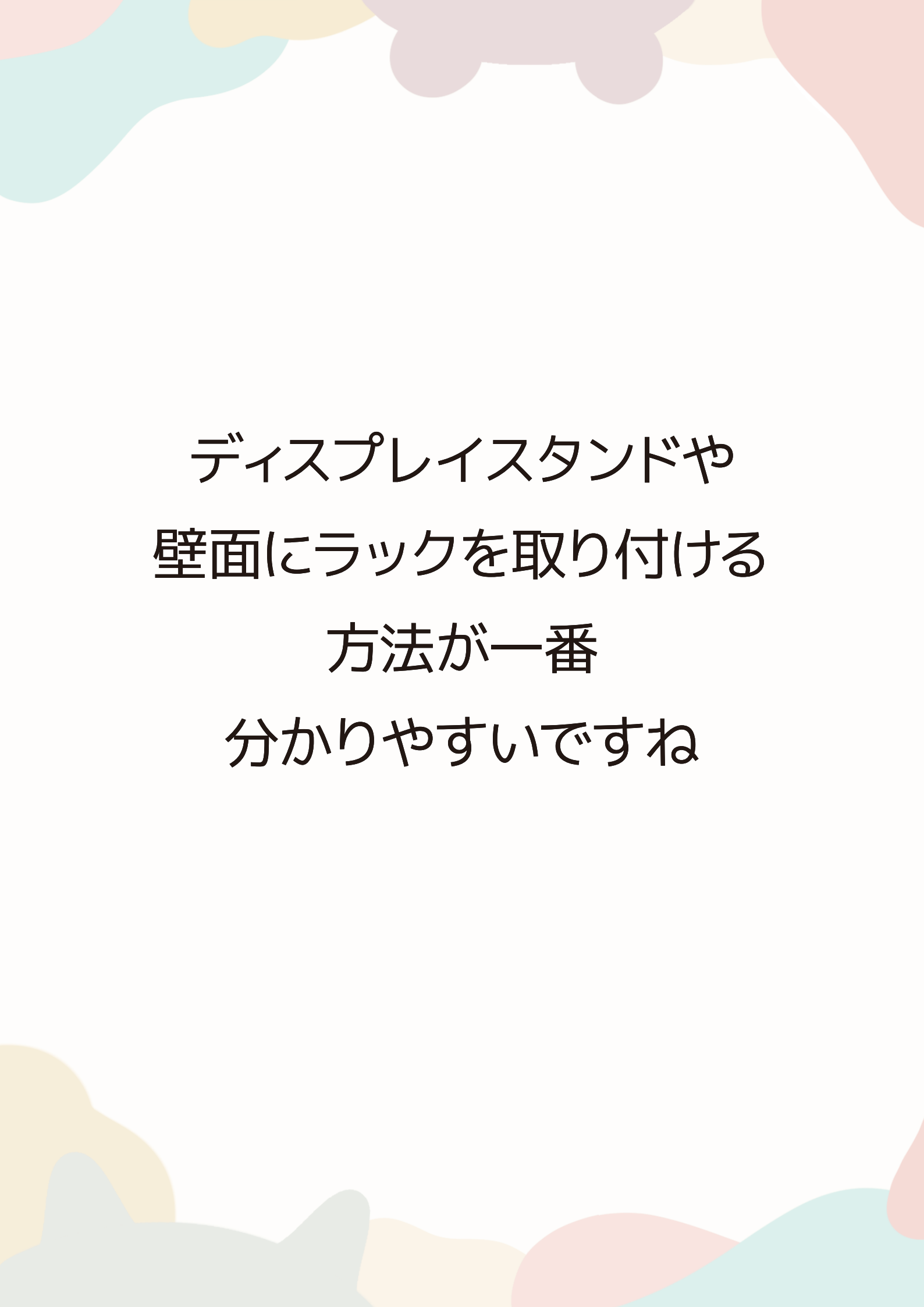
見せる

です



見せる設営の例





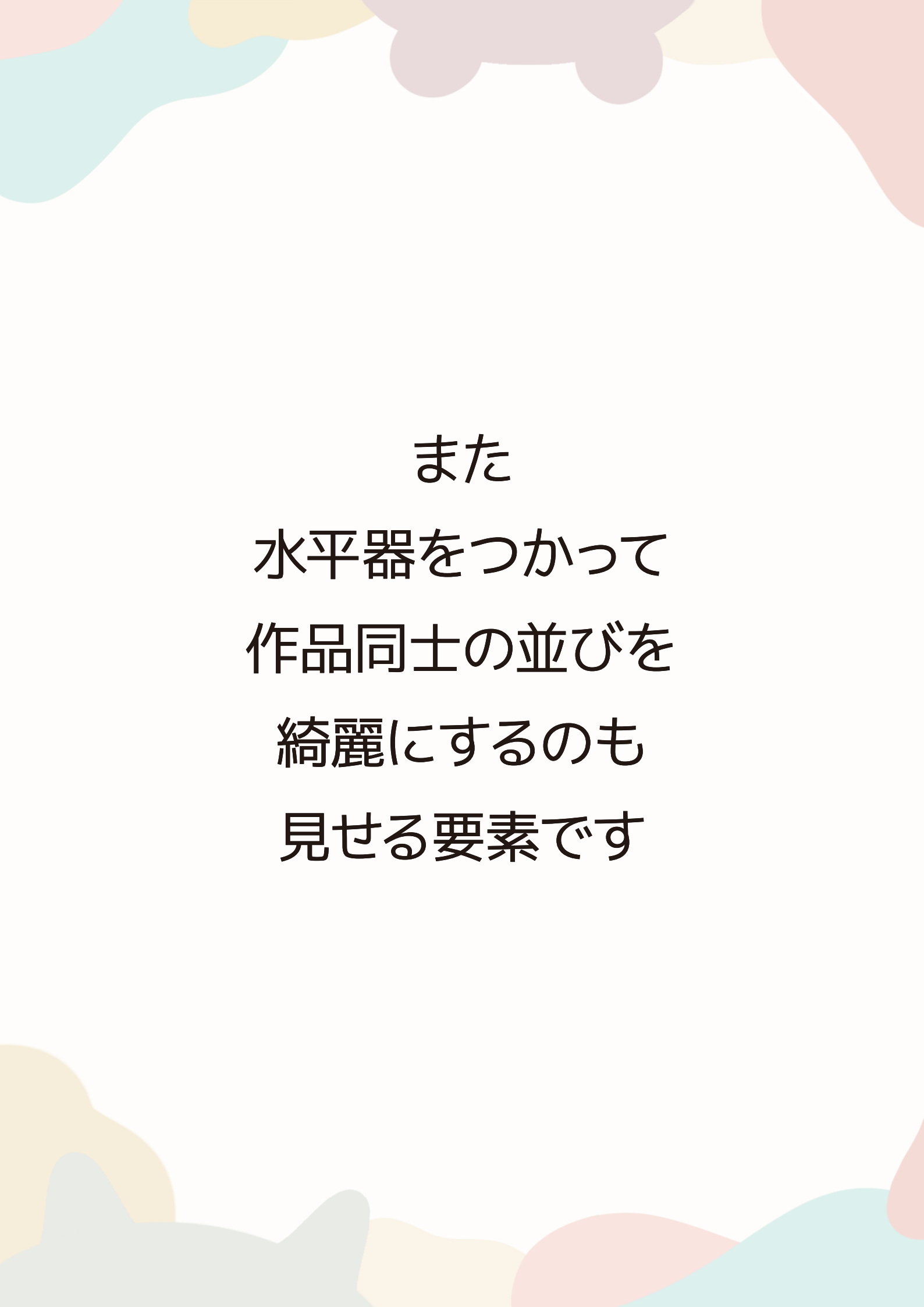
ディスプレイスタンドや
壁面にラックを取り付ける
方法が一番
分かりやすいですね

ディスプレイスタンドの例



ラック取り付けの例



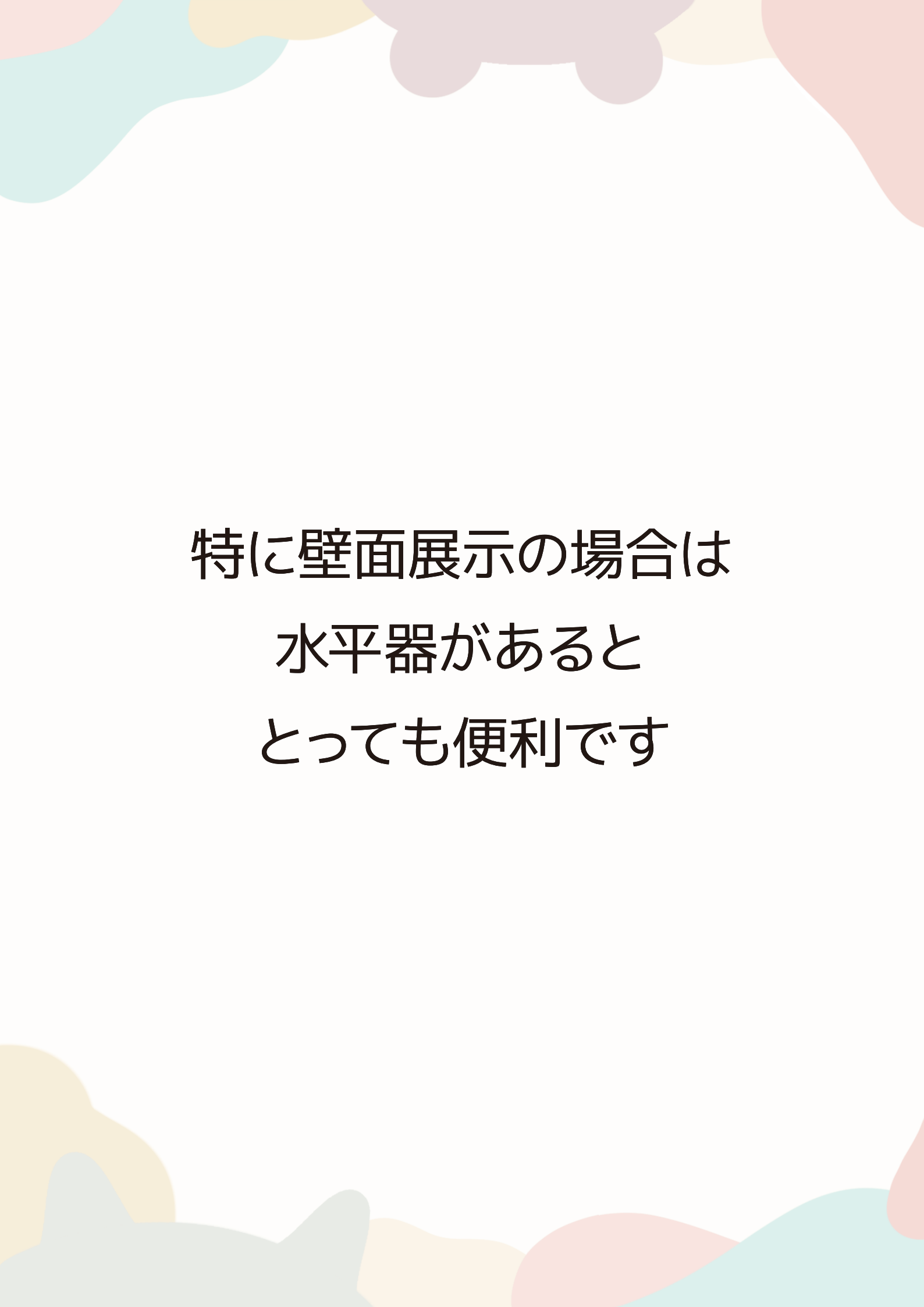


また
水平器をつかって
作品同士の並びを
綺麗にするのも
見せる要素です

作品同士の水平が とれている例

水平ライン





特に壁面展示の場合は
水平器があると
とっても便利です

水平器



キャンバス等の上辺に乗せて
泡の気泡が
真ん中に来れば水平になります



気泡がずれているので
水平がとれていない



気泡が両側の線の
真ん中に来ているので
水平がとれている

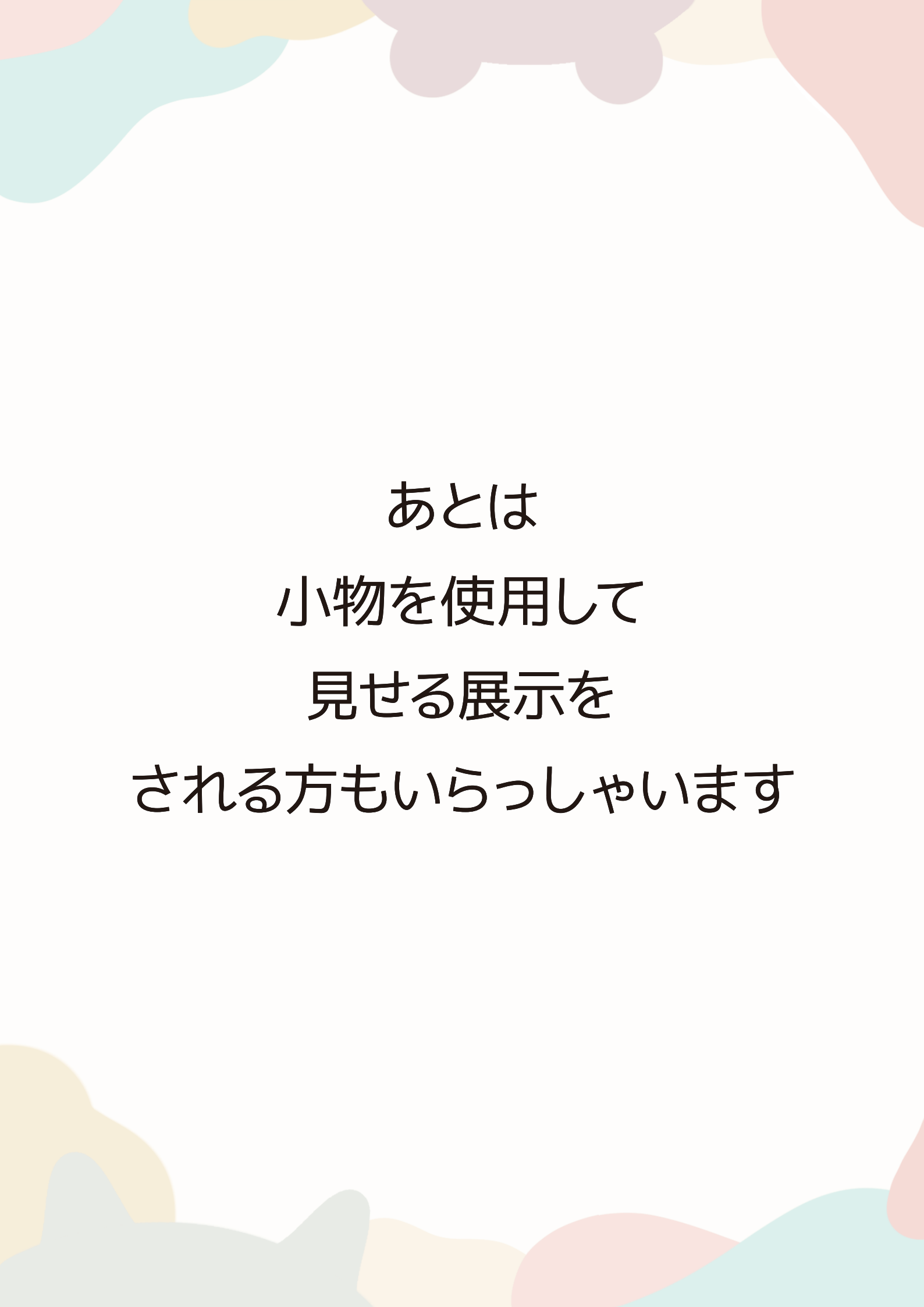


ある程度均等に
並べたい場合に重宝します

が

フィルムの展示はラフなので
そこまで厳密に
水平をとらなくても大丈夫です

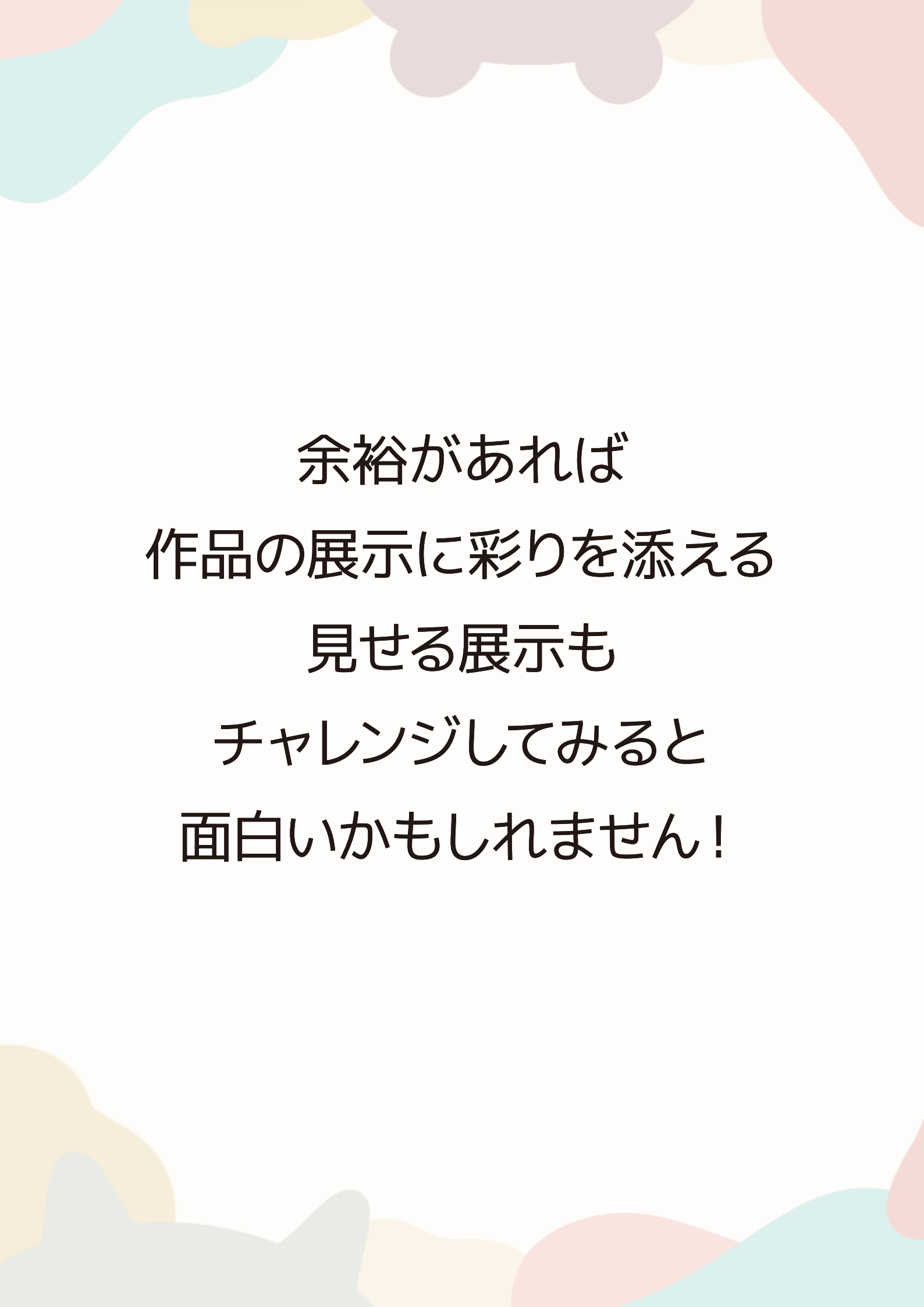




あとは
小物を使用して
見せる展示を
される方もいらっしゃると思います

お花の小物をつかった展示の例





余裕があれば
作品の展示に彩りを添える
見せる展示も
チャレンジしてみると
面白いかもしれません！



設営基本パターン 5

補強



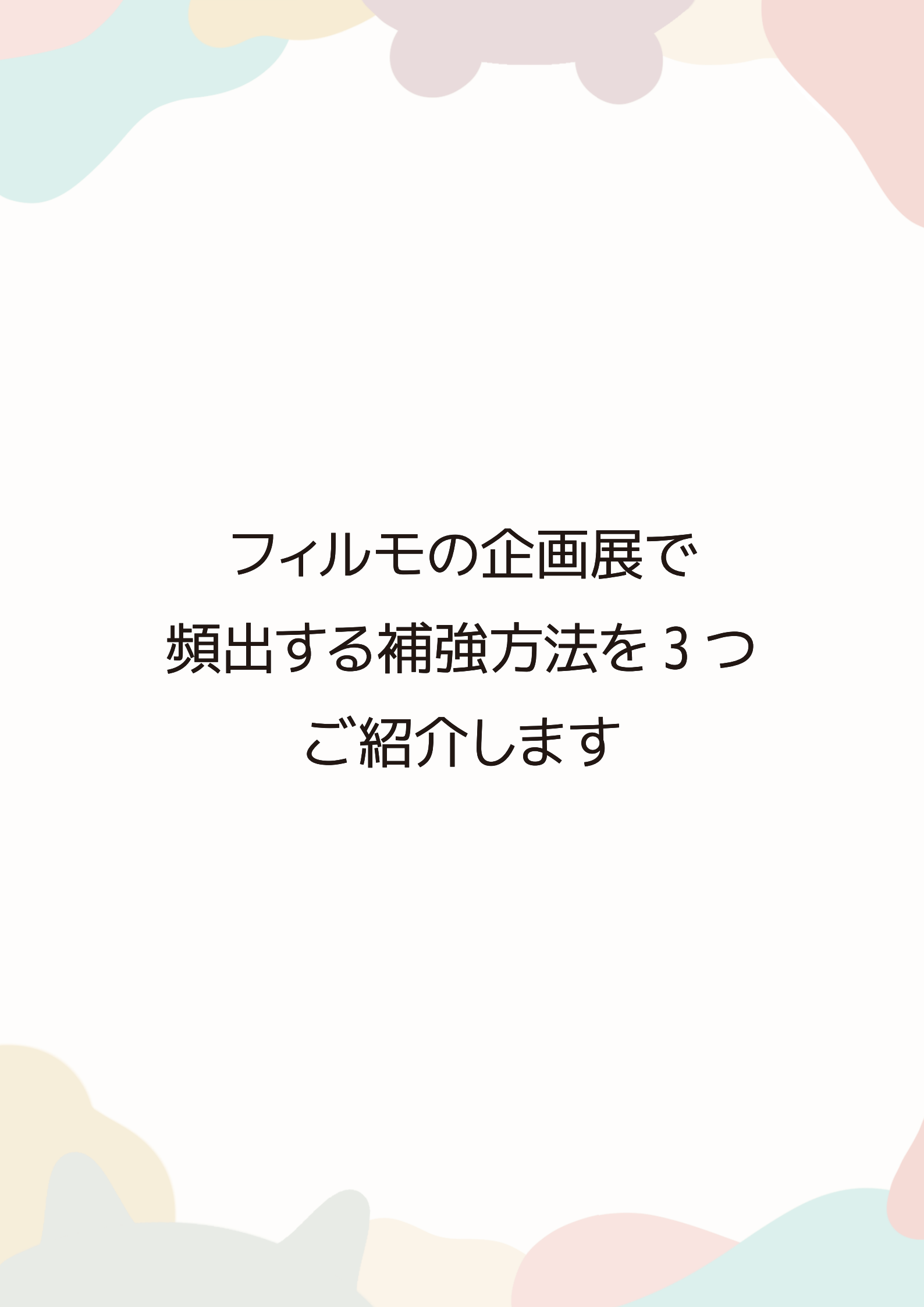
A collection of soft, pastel-colored shapes in shades of pink, teal, and yellow, arranged in a cloud-like pattern at the top of the page.

作品の落下や
破損を防ぐのが

補強

です

A collection of soft, pastel-colored shapes in shades of yellow, teal, and pink, arranged in a cloud-like pattern at the bottom of the page.

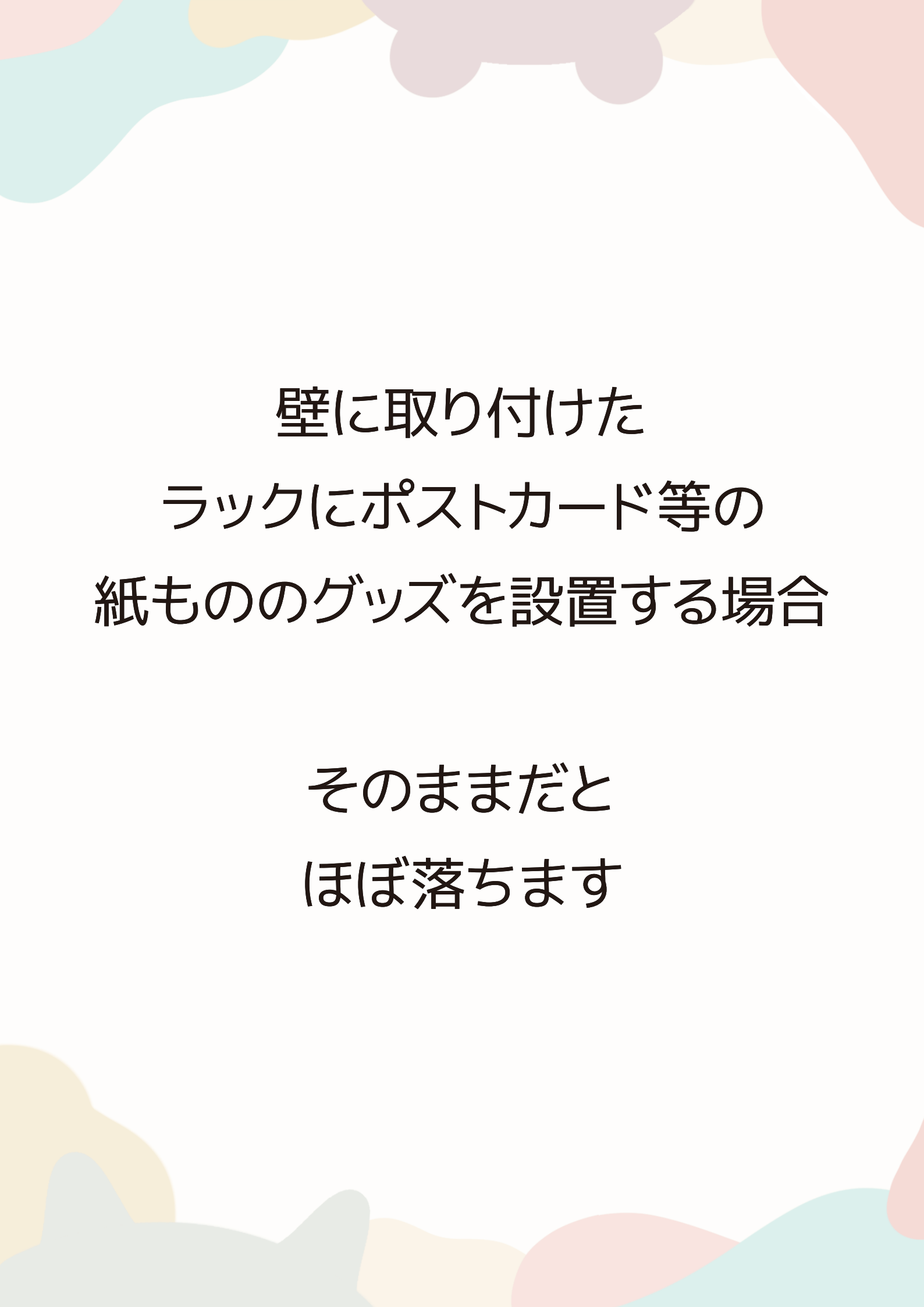


フィルモの企画展で
頻出する補強方法を3つ
ご紹介します

頻出 No.1

ラックに紐を取り付ける





壁に取り付けた
ラックにポストカード等の
紙もののグッズを設置する場合

そのままだと
ほぼ落ちます

落ちやすい例



※一見落ちなさそうですが
お客様が手に取ったときに
落ちやすいです

落ちないように
紐をとりつけて
補強をお願いします



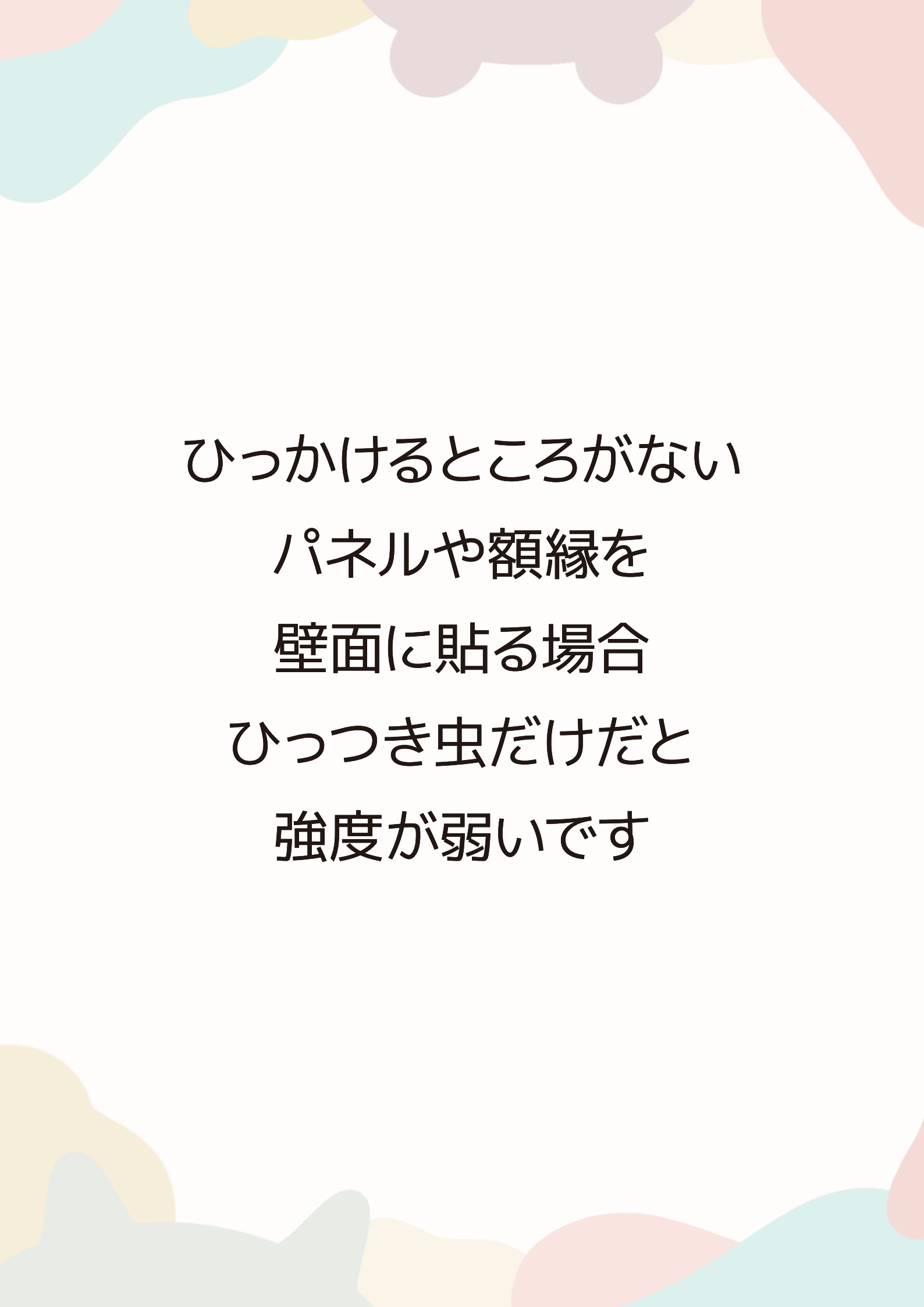
下記のように
そもそも補強が必要ない
器具を使用するのも手です



頻出 No.2

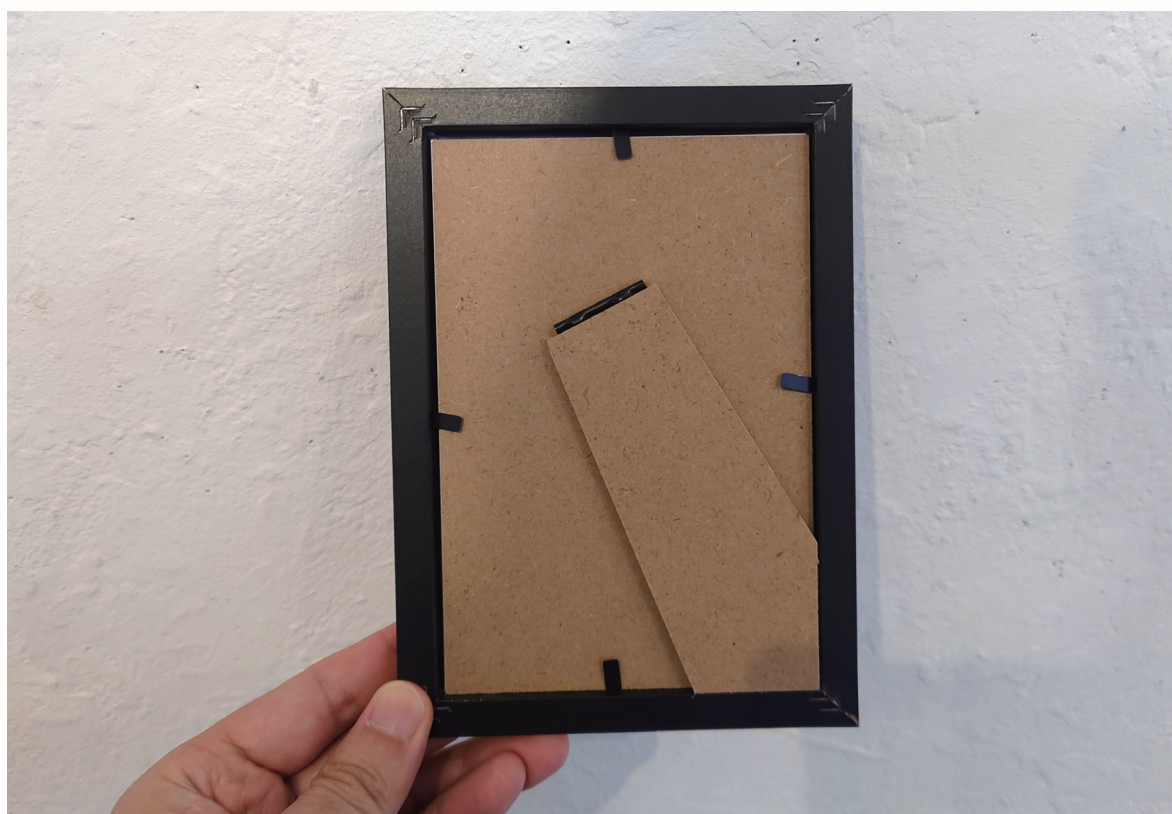
ひつつき虫 + 虫ピンで貼る





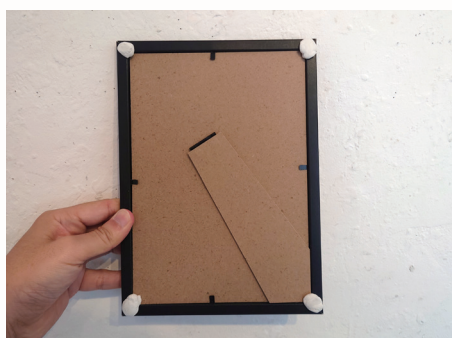
ひっかけるところがない
パネルや額縁を
壁面に貼る場合
ひっつき虫だけだと
強度が弱いです

ひっかけるところがない 額縁の例



※スタンド型の額縁は
基本的にひっかけるところがありません

ひっつき虫で
貼ったパネルや額縁の
四方を虫ピンでさらに補強します



裏面に
ひっつき虫を
付けて



虫ピンを
はわせるように打って
四方から補強する

虫ピンは
ハンマーで打ち込む
必要があります



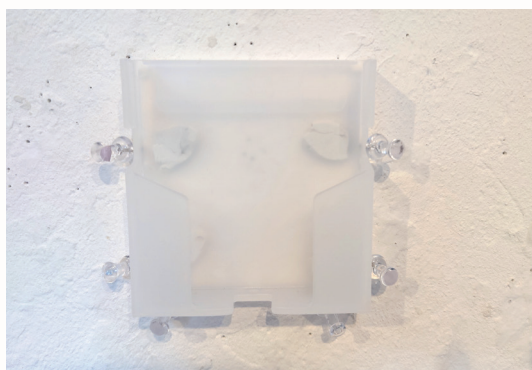
特にこのような
ラック類はひっつき虫だけだと
確実に落ちます
ひっかける穴があるものを使用するか
必ず補強してください



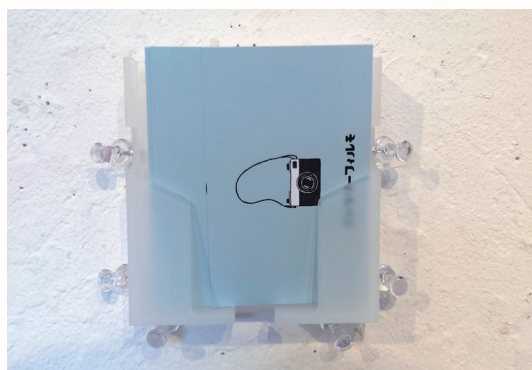
ひっつき虫を背面に付けて



そのまま壁に貼っても落ちるので



虫ピンやダルマピンで四方を補強



ここまで補強すれば OK です



ちなみに . . .

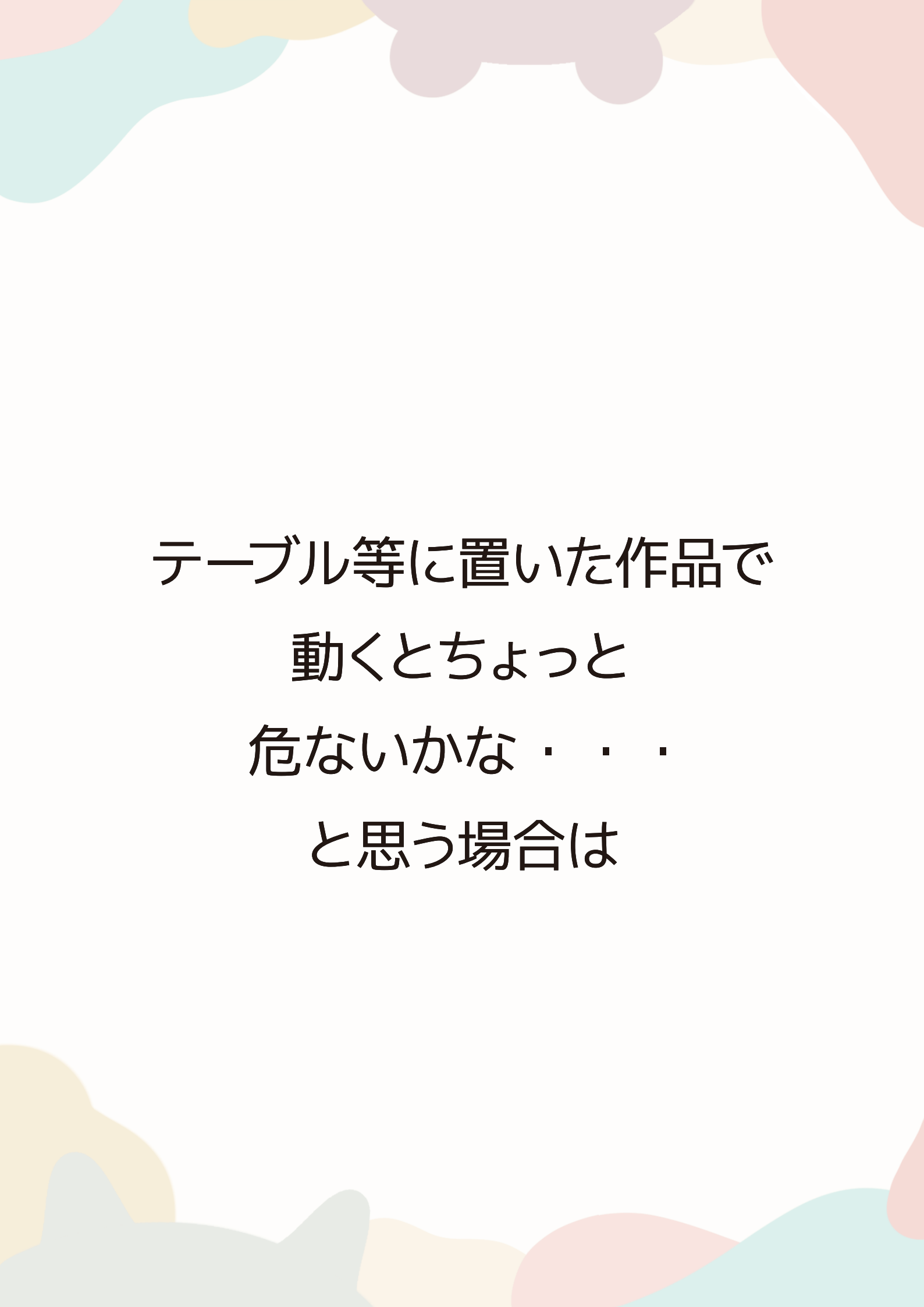
これらはそもそも壁に貼る用の
ものではないので
使用したい場合は
紐がかけられたり
ひっかける金具や穴が
あるものを
おすすめします



頻出 No.3

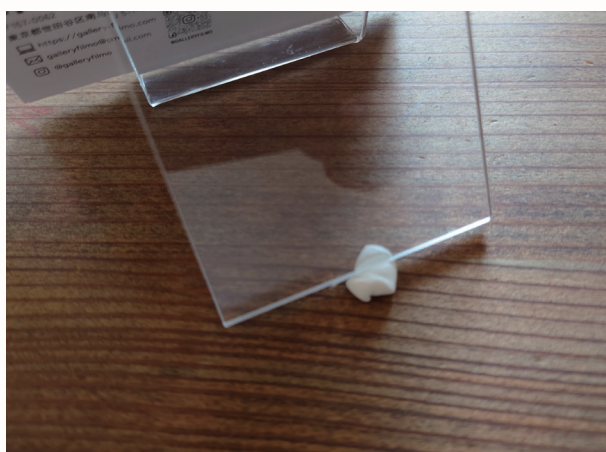
スタンド等をひっつき虫で補強





テーブル等に置いた作品で
動くとちょっと
危ないかな . . .
と思う場合は

底面にひっつき虫を 付けて動かないように 補強します



※紙ものは
前述の通りひっつき虫は裏面に跡が
残る可能性に注意

特に奥行が
狭いところの設置では
補強した方が安全です



※ひっつき虫を
付けて補強

